

大河原地区教科用図書採択地区協議会  
専門員会調査概要報告

令和7年度使用

学校教育法附則第9条の規定による教科用図書（一般図書）

小学校

## <小学校 特別支援学級用>

令和6年6月14日(金)

小学校特別支援学級部会では、学校教育法附則第9条の規定による教科用図書(一般図書)94冊(実数88冊)について調査・研究いたしました。

小学校学習指導要領及び特別支援学校学習指導要領においては、発達障害を含む多様な障害や教育的ニーズに応じた一人一人の十分な学びの確保、自立と社会参加を見据えた指導・支援の充実、カリキュラム・マネジメントの推進が求められています。

第2期宮城県教育振興基本計画においては、障害の有無によらず、多様な個性をもつ全ての子どもたちの心豊かな生活と共生社会の実現を目指し、柔軟で連続性のある多様な学びの場の中で、一人一人の様々な教育的ニーズに応じたきめ細かな教育を展開していくことが基本方向として定められています。

児童一人一人が命を守り、夢と志をもち、学び続け、社会参加していけるよう学習活動を進めていくためには、支援の必要な児童にとって使いやすく、分かりやすく、そして学ぶことへの興味・関心を喚起できる教科用図書が不可欠であると改めて確認しながら調査・研究を進めてまいりました。

その結果、小学校教科用図書(一般図書)全94冊(実数88冊)については適切であると判断いたしました。

今回調査・研究した図書には、使用効果の高さを長年の実践の中で確認してきた図書、新たに選定した図書とありますが、社会的自立に向けて身に付けるべき力、夢や志を持ち実現していく力、互いを理解し共に生きていく力、自他の命を大切にできる力などの育成につながる内容が取り上げられています。今年度新たに調査対象とした図書には、感染症予防や日常生活に起こりうる危険の回避、自然災害への備えや対応を学習できる図書がありました。発達段階に応じて、事件・事故・災害・感染症などについて学べ、命を守る行動がとれるような図書を採択することには大きな意義があると考えます。

また、特別支援教育は自立や社会参加に向け、子供一人一人の持てる力を高めるものであり、実際の生活に即した生きる力をいかに育むか重要ですが、どの図書も児童の実際の生活と密接に結びつく内容が取り上げられ、児童にとって親しみのある、興味・関心を喚起するものでした。

さらに、それぞれの図書は、大きいサイズの文字や豊かな色彩の挿絵のある図書、DVDがついた図書、SDGsに関する図書、児童が自主的に考え学べるように構成された図書、指導者や保護者が児童の実態に応じた指導や配慮をするための資料が用意された図書と、児童の障害の程度と発達段階に応じて、学習内容をよく理解できるような工夫がなされています。その中でも、今年度は、視覚・聴覚・触覚など様々な感覚を使いながら学ぶことができる図書が、新たに数冊加わっており、多様な学び方の推進がさらに必要であることを感じました。

最後に調査・研究を通して、教科用図書については、「内容」、「組織と配列」、「学習と指導」、「表現と体裁」の4つの観点から総合的に判断した適切な図書を採択することが重要であることを改めて学びました。

今回得られた学びを、各所属においてはもちろんのこと、管内におけるネットワークも生かし、教育活動の改善や教科用図書の活用につなげていきたいと考えます。

以上で 小学校 特別支援学級部会 の報告を終わります。

種目	生活	書名	No.1 はっけんずかん どうぶつ改訂版	発行者名	学研				
評	<p>(1) 内容に関すること (以下略す)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>動物の大自然での生活の様子を見開きで紹介し、興味・関心をもって学ぶことができる内容になっている。</li> <li>動物の特徴や生活の様子など、動物について様々な視点から学習できるように構成されている。</li> </ul> <p>(2) 組織と配列に関すること (以下略す)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>動物の生活の様子が「うみ」「ジャングル」など環境場面ごとに紹介されており、動物と環境との関連が理解しやすいよう配列されている。</li> <li>見開きのページの次には、その場面に出てきた動物の説明が書かれており、その説明を見てから見開きのページに戻り、説明の内容を繰り返し確かめることができる。</li> <li>「そうげん」「うみ」など、生活環境場面の分類に加え、「ふくろがある」「かりをする」など、体のつくりや行動の特徴ごとにも配列されている。</li> </ul> <p>(3) 学習と指導に関すること (以下略す)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童自身で自然の中の動物たちが描かれた仕掛け扉をめくり2枚の絵を見比べることで、場面の前後の様子を把握しやすい内容となっている。</li> <li>「なぜ?」「なに?」などと書かれた吹き出しが興味や関心を喚起する内容になっている。</li> </ul> <p>(4) 表現と体裁等に関すること (以下略す)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表紙が厚く、装丁もしっかりしている。</li> <li>絵と写真及び説明文がバランス良く組み合わせられており、動物についての疑問を解決したり、知識を身に付けたりする上で効果的な構成になっている。</li> </ul>								
価	<p>(総評)</p> <p>自然界での動物の生活の様子が絵や写真で豊富に紹介されており、理解が深まる内容となっている。</p> <p>見開きのページにはたくさんの仕掛け扉があり、児童の探究心や知的好奇心を喚起させる工夫が施されている。</p> <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> </table>					A	B	◎	○
A	B								
◎	○								
種目	生活/道徳	書名	No.2 おひさまセレクション 勇気をくれるおはなし 16話	発行者名	小学館				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童が親しみを感じやすい日常生活に即した話や、なじみのある動物が出てくる物語、民話などを通して、自分自身や身の回りの生活のこと、身近な人、自然との関わりなどについて考えることができる内容となっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>16話の独立した話から成り立っており、児童が興味・関心を持った話から読み始めることができる内容となっている。</li> <li>どの話も児童が集中して読みやすい適切な分量の短編となっている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な題材が扱われているため児童が理解しやすく、道徳と関連付けた学習につなげやすい。</li> <li>16話全てが違う作家による絵で構成されているので、飽きずに読み進めることができる。</li> <li>登場人物の豊かな表情を基に、児童の実態に応じてやりとりをしながら読み進めることができる。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>紙質が良く、装丁もしっかりしている。</li> <li>文字は読みやすい大きさであり、すべて平仮名と片仮名で書かれてある。</li> </ul>								
価	<p>(総評)</p> <p>読んだ後に前向きな気持ちになれるような16話の短編から構成されており、児童がよりよい生活に向けた意欲を持ちやすい内容となっている。</p> <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>					A	B	○	
A	B								
○									

種目	生活	書名	No.3 福音館の科学シリーズ 道ばたの四季	発行者名	福音館書店				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>季節ごとに道端にある身近な植物と虫や鳥と一緒に描かれ、身の回りの自然やその変化について年間を通して学習できる内容となっている。</li> <li>野外での体験活動を促したり、自然への興味・関心を喚起したりできるような内容が網羅されている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見開きで季節ごとに身近な植物や虫、鳥の様子が紹介されており、季節と動植物との関連が理解しやすいように配列されている。季節ごとのページの分量も適切である。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見開きから更に観音開きになるページもあり、季節ごとの植物や虫、鳥の様子と四季の変化を眼前の風景のように捉えることができるよう工夫されている。</li> <li>虫や鳥の名前が記載されているだけでなく、季節や場所に応じた虫や鳥の生態、植物の育つ様子などが簡潔な文章で説明されており、児童の発達段階に応じて発展的、応用的な学習ができるように工夫されている。</li> </ul>								
価	<p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実際の場面を想起させるような写実的で色彩豊かな絵が用いられている。動植物の特徴を捉えており、親しみやすい。</li> <li>表紙が厚く、装丁もしっかりしている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>道端の風景の中によく見られる植物や虫、鳥について、正確な名称が示されているとともに絵が豊富に掲載されており、児童が興味を持って学習できる内容となっている。</p> <p>季節の変化から植物の様子や虫、鳥の暮らしまで、発達段階に応じて学習ができるように構成されている。</p> <table border="1" data-bbox="1145 913 1455 1070"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>					A	B	◎	○
A	B								
◎	○								
種目	生活	書名	No.4 幼児絵本シリーズ くだもの	発行者名	福音館書店				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な果物の名前や特徴について理解しやすい内容となっている。</li> <li>果物のそのままの状態の絵と、切ったり洗ったり、皮をむいたりした状態の絵が示されており、食への興味・関心を高めることができる内容となっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>四季の代表的な果物で組織されている。</li> <li>それぞれの果物について、果実の絵の次に、切ったりむいたりして食べられるようにした状態の絵を示すパターンで配列されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見開きで大きく写実的な絵が描かれていて、見やすく分かりやすい。</li> <li>果物の名前の後に「さあ、どうぞ」の言葉がリズム良く繰り返され、児童が期待感を持ってページを読み進められるように工夫されている。</li> <li>果物を差し出す様子が描かれており、読み手とのやり取りに発展させることができる。</li> </ul>								
価	<p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>淡い色彩だが、背景が白になっているため形が捉えやすい。</li> <li>表紙が厚く、装丁もしっかりしている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>身近な果物の名前や特徴について、理解しやすい内容となっている。また、文中の言葉を動作化し、児童とやり取りしながら食への興味・関心を高めることができる内容となっている。さらに最終ページは皮をむくことができた子どもの絵が描かれており、児童に親しみやすい工夫が施されている。</p> <table border="1" data-bbox="1145 1848 1455 2004"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>					A	B		◎
A	B								
	◎								

種目	生活	書名	No.5 くまのがっこう ジャッキーのトマトづくり	発行者名	ブロンズ新社				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「トマトづくり」という体験活動を通して、植物の生長について関心を高めることができる内容となっている。</li> <li>トマトを大切に育てる主人公の様子から、野菜に対する愛情を感じられる内容になっている。</li> <li>主人公が学校生活で取り組んだ畑仕事や調理の様子に親近感を持ちやすい内容となっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>トマトの種まきから、収穫、調理までの流れを、順序立てて読み進めることができる構成になっている。</li> <li>トマトの生長に親近感を持ちながら集中して読むことができる分量で表現されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童の実態に応じて栽培活動や調理、食事といった学習に発展させることができる。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表紙が厚く、装丁がしっかりしている。</li> <li>文字は小さめであるが、すべて平仮名と片仮名で書かれている。</li> <li>キャラクターは児童が親しみやすく、色彩は柔らかいである。</li> </ul>								
価	<p>(総評)</p> <p>主人公が一生懸命にトマトを育てている様子が描かれており、読み手側も応援したくなるような内容となっている。          トマトの生長の様子が分かりやすい絵で描かれており、食への関心も高めることができる内容となっている。</p> <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> </table>					A	B	◎	○
A	B								
◎	○								
種目	生活	書名	No.6 単行本 さわってあそぼうふわふわあひる	発行者名	あかね書房				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>色や形を認識したり、素材の感触を指で楽しんだりしながら、ページ内に隠された動物を探す内容となっている。</li> <li>身近な動物だけでなく、実際に見る機会の少ない動物も登場し、児童の知的好奇心を喚起させることができる。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>7種類の色、形、感触で構成されており、動物の名称や体毛、皮膚などの感触等を表す擬態語や擬音語が、平仮名や片仮名で表現されている。</li> <li>巻末で今まで読み進めてきた内容を振り返るので、理解へとつなげることができる構成となっている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見開きで一つの色と形を学習することができる。加えて、触れて感触の違いを楽しみながら擬態語を学習することができるように工夫されている。</li> <li>仕掛けのページをめくることで、色、擬態語、感触に該当する動物を当てる面白さがあり、興味を持って学習できる。</li> <li>視覚に障害がある児童にとっても、感触を楽しみながら学習を進めることができるように工夫されている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1ページあたりの文字数が少なく、平仮名や片仮名を負担なく学習できる。</li> <li>仕掛けのあるページがすべて右側に設けられており、分かりやすい。</li> <li>紙質が良く、装丁もしっかりしている。</li> </ul>								
価	<p>(総評)</p> <p>色や形、動物の名前、擬態語について、見たり触ったりしながら楽しく学習を進めることができるような構成となっている。</p> <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td></td> <td>◎</td> </tr> </table>					A	B		◎
A	B								
	◎								

種目	生活	書名	No.7 えほん よんで! 2 「おいしいおと なあに?」	発行者名	あかね書房				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>動物が飲んだり食べたりする様子に擬音語が示され、実際の場面が想像しやすく表現されている。</li> <li>児童にとって身近な食べ物が登場し、楽しみながら読み進められる内容になっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見開きで、左ページに平仮名で擬音語が書かれ、右ページに擬人化した動物の食事風景が描かれるというパターンで配列されている。そのため、擬音語から食べ物や食べる様子を想像したり、絵から擬音語を考えたりすることができるように配慮されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>食べるときの擬音語と調理するときの擬音語が併記されており、身の回りの音を言葉で表現する学習をより深めることができるように工夫されている。</li> <li>児童がよく好む食べ物を取り上げられているので、日常の食事や調理に関心を持つことができる内容となっている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>紙が厚く、装丁がしっかりしている。</li> <li>擬音語は大きな平仮名表記で読みやすく、リズムカルに配置されている。</li> <li>食事をしている動物のキャラクターの表情がユーモラスに描かれているおり、児童が楽しみながら読み進められるように工夫されている。</li> </ul>								
価	<p>(総 評)</p> <p>擬音語を、食べ物や調理に関する学習に関連付けて学ぶことができるように工夫されている。</p> <p>動物の食事風景が楽しく描かれており、児童が興味・関心を持って食について学習することができる内容になっている。</p>								
					<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td></td> <td>◎</td> </tr> </table>	A	B		◎
A	B								
	◎								
種目	生活	書名	No.8 かばくん・くらしのえほん・2 かばくんのおかいもの	発行者名	あかね書房				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな店で扱っている物について、その名称などを確認したり受け答えしたりしながら学習を進められる内容となっている。</li> <li>日常生活でよく使われる会話文が挿入されており、実生活に役立てやすい内容となっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家を出るところから、買い物をして帰宅するところまでの流れを、順序立てて読み進めることができる構成になっている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>店の絵が大きく描かれ、店ごとに身近な商品が取り上げられており、児童が様々な店に興味・関心を持ちやすいように工夫されている。</li> <li>児童の実態に応じて、店舗の利用や買い物などの経験と結び付けて発展的な学習につながるができる。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表紙が厚く、紙質もよい。</li> <li>淡い色合いの絵が多いが、分かりやすく表現され、背景が白色のため一つ一つの形をしっかりと捉えることができるように工夫されている。</li> <li>見開きの片側に店の様子、もう片側には店で売っている商品が並べて表示してあり、指さしなどがしやすいように見やすくレイアウトされている。</li> </ul>								
価	<p>(総 評)</p> <p>母親との買い物を通して、児童が身近な社会生活に関心を持ち、お手伝いへの意欲を喚起しやすい内容になっている。</p> <p>店で扱う商品が分かりやすく表現されている。商品名の表記がないので、教師や周囲の児童とやり取りをして確かめながら、商品についての理解を深めることができる内容となっている。</p>								
					<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table>	A	B	○	○
A	B								
○	○								

種目	生活	書名	No.9 創作絵本 いちねんめいる	発行者名	ほるぷ出版				
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>季節の特色に関連付けた迷路遊びや、絵探し遊びを楽しむことができる内容となっている。</li> <li>各月や季節の行事、特色について理解を深めることができる内容となっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>季節的行事と季節を表す特徴的要素が見開きの2～4ページずつに整理され、適切に配列されている。</li> <li>学校の年度始めの4月から順に各季節が象徴的に表現され、分かりやすく工夫されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>迷路遊び、絵探し遊びに教的要素も加えられ、発展的な学習ができるように配慮されている。</li> <li>所々に小さい文字で文章も書かれているので、読み手が問題を出せるよう対話をしながら進めることもできる。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人物や動物などが鮮明な色彩で表情豊かに描かれており、児童が親しみやすく、興味・関心を持って見ることができる。</li> <li>紙質が良く、また、堅ろうな装丁で仕上げられている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>迷路遊びや絵探し遊びを楽しみながら、季節の行事や特色に気付くことができるように工夫されている。</p>								
				<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table>	A	B	○	◎	
A	B								
○	◎								
種目	生活	書名	No.10 改訂新版体験を広げることものずかん1 どうぶつえん	発行者名	ひかりのくに				
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>動物園で飼育されている動物を絵や写真で紹介し、生き物に対する興味・関心を高めることができる内容になっている。</li> <li>動物の特徴や生活の様子など、動物について様々な視点から学習できるように配慮されている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>動物に関する知識を身に付けるだけでなく、主体的に調べることができるように、きめ細かな内容が組織的に配列されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>豊富な写真や解説は児童の興味・関心や特性に応じて活用しやすい内容となっている。</li> <li>巻末の資料や随所にある豆知識などの記述を活用し、発展的な学習につなげることができる。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>絵と写真及び解説がバランスよく組み合わせられており、動物について疑問を解決したり、知識を身に付けたりする上で、効果的な構成になっている。</li> <li>絵や写真の色彩が鮮明で、個々の動物の特徴が分かりやすく表現されている。</li> <li>文字は小さめであるが、漢字には全て振り仮名が振られている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>動物園にいる児童になじみのある動物が、写真と写実的な絵で豊富に紹介され、動物への興味・関心や理解を深められる内容となっている。</p> <p>情報量が多く漢字表記も多いため、比較的理解の早い児童の使用に適している。</p>								
				<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> </table>	A	B	◎	○	
A	B								
◎	○								

種目	生活	書名	No.11 202シリーズ たべもの202	発行者名	ひかりのくに				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食べ物が写真と平仮名で示されており、食への関心を高めることができる内容となっている。</li> <li>・ 食べ物の名称を考えたりクイズに答えたりする平仮名にも関心を持てるような内容となっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食べ物が五十音順に写真と平仮名で掲載され、食べ物の名称と平仮名での表記を結び付けながら学習できるように配列されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食べ物の鮮明な写真が使われているので特徴を捉えやすく、児童の興味・関心を喚起しやすいような工夫がされている。</li> <li>・ 平仮名の筆順や通し番号が示されており、書写指導や数に関する指導に関連付けることができる。</li> <li>・ クイズコーナーがあり児童の意欲を喚起させながら楽しく学習を進めることができる。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文字と写真が大きく鮮明で視覚的に分かりやすい。</li> <li>・ 一部片仮名が使用されているが、全てに振り仮名が振られている。</li> <li>・ 紙が厚く、しっかりとした装丁である。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>202種に及ぶ食べ物や飲み物が掲載されており、家での食事、外食、食べ物の分類など、多方面にわたる食に関する学習につなげることができる内容となっている。</p>								
価	<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table>					A	B	○	◎
A	B								
○	◎								
種目	生活	書名	No.12 やさしいからだのえほん1 からだのなかはどうなっているの？	発行者名	金の星社				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常生活で感じる体への疑問を、分かりやすい絵と簡単な言葉を使い解説している。</li> <li>・ 体の仕組みや健康についての関心を高めることに適した内容である。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初めに男の子と女の子の体を紹介し、その後、骨格、血液、呼吸、消化・吸収、排泄と、見開き1ページで分かりやすく示されており、分量も適切である。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 男女の体の違いから性に関する指導に取り組んだり、消化・吸収の学習から食育に取り組んだり、発展的な学習につなげられるように配慮されている。</li> <li>・ 最後の項に「からだのふしぎ」として体への疑問を投げ掛ける内容があり、「調べてみたい」、「もっと知りたい」など発展的な学習への意欲につながるよう工夫されている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ シンプルで親しみやすい絵で体の仕組みが表現され、複雑な体の働きを分かりやすく説明できるように工夫されている。</li> <li>・ 本の向きを上下の見開きにすることで、縦長の人体を理解しやすく表現している。</li> <li>・ 紙質が良く、また、堅ろうな装丁で仕上げられている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>体について親しみやすい絵と簡単な文章で分かりやすく説明しており、児童が興味を持って学習することができる内容となっている。体の各部位の名称から体の内部の構造や働きについてまで、児童の発達段階に応じて学習することができるように配慮されている。</p>								
価	<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> </table>					A	B	◎	○
A	B								
◎	○								



種目	生活	書名	No.1 3 チャイルドブックこども百科 くらしとぎょうじのせいかつ図鑑	発行者名	チャイルド本社
評					
価					
種目	生活	書名	No.1 4 しんかんせんでいこう	発行者名	ひさかたチャイルド
評					
価					

(1)  
 ・ 基本的な生活習慣や安全、人との関わり、手伝い・仕事、金銭の扱いなど生活科の学習内容が盛り込まれている。  
 ・ 生活力を高めるための基礎的内容が丁寧に示され、児童が自分の生活経験を振り返りながら取り組みやすい内容となっている。

(2)  
 ・ 内容が三つに分けられて構成されている。「おうちの中でできるかな?」では、基礎的な生活習慣に加え、季節の行事や行事食について説明されている。「おでかけできるかな?」では、交通ルールや買い物の時のマナー、自分の身を守るためにできること等が説明されている。「できたらいいね!」では、さらに身の回りのことに興味を持ち積極的に体験してみようとする意欲を喚起する内容となっている。  
 ・ 見開きで一つの題材を扱っている場合が多く、適切な分量となっている。

(3)  
 ・ 毎日の生活に関する題材が扱われているので、児童が自分の生活を振り返り、より良いものにしようと取り組みやすい内容となっている。  
 ・ スキルを身に付ける題材では短い文章と絵や写真が使われ、児童が理解しやすい内容となっている。  
 ・ 簡単な調理や掃除の仕方等、実践的な内容が配列されている。

(4)  
 ・ 親しみやすい絵と写真を使っているので分かりやすい。  
 ・ 表紙が厚く紙質もよい。漢字には振り仮名が振ってある。

A	B
◎	◎

(総評)  
 児童の日常の生活に沿った内容で、基本的な生活習慣を身に付けたり、公共の場での基本的なルールやマナーを学習したりしやすい内容となっている。

(1)  
 ・ 俯瞰で細かく描かれた日本列島を、新幹線でたどっていく絵本である。  
 ・ 日本の地理や新幹線等の電車の種類、路線について知ることができ、地域の特徴についても関心を持ちやすい内容となっている。

(2)  
 ・ 表紙から読み始めると北海道から九州、裏表紙から読み始めると九州から北海道というように、どちらから読んでもつながるように配列されている。

(3)  
 ・ 見開きごとに、各地域の地図の上を新幹線が走る様子が描かれており、地域の特徴を大まかに捉えることができる。  
 ・ 新幹線だけでなく各地域の在来線や私鉄、各地の名所や施設なども描かれているので、路線や電車、地域に関する学習にも発展させることができる。

(4)  
 ・ 各地域を俯瞰した地図の上に新幹線をはじめとする電車や乗り物、名所などの絵を、親しみやすい絵で描いており、見やすい体裁になっている。  
 ・ 観音開きで左右に大きく開くページがあることや、左右どちらからも読むことができる構成は、児童の興味・関心を喚起することに適している。

(総評)  
 俯瞰した日本列島を走る新幹線をはじめとする様々な種類の電車や各地域の名所などが描かれており、日本の電車や新幹線の交通、地域の特徴を楽しく学習できるように配慮されている。

A	B
◎	○

種目	生活/外国語	書名	No.1 5 ARで英語が聞ける はじめてのえいご絵じてん	発行者名	三省堂				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童の生活に身近な物の名前や言葉、親しみやすい英語の歌やゲームが取り上げられている。</li> <li>児童の身近な生活に関する英単語の「読み」、「つづり」、「意味」がセットで表示されており、全ての音声をAR（拡張現実）アプリによってタブレット端末で聞くことができる仕組みになっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>食べ物や体の部分、公園の道具、動物園の動物などが見開きでまとめられており、学習しやすい配列となっている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活に身近な物の名前や言葉が多く取り上げられており、英語学習を通して、語彙やコミュニケーション能力の拡充につなげることができる。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>シンプルな絵で描かれており、見やすく、親しみやすいものになっている。また、色彩も鮮やかである。</li> <li>文字は全て読みやすいゴシック体の平仮名とアルファベットで描かれている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>身の回りの物や言葉について興味・関心を持ち、英語に親しみやすい内容となっている。</p> <p>学習内容を通して、挨拶など基本的な生活習慣や身近な人との関わり合いなど、コミュニケーション力を身に付ける学習にもつなげることができる内容となっている。 *QRコードあり。</p>								
価	<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> </table>					A	B	◎	○
A	B								
◎	○								
種目	生活	書名	No.1 6 ユニバーサルデザイン絵本 11 へんしんまるちゃん	発行者名	UD 絵本				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>色や形、物の名前などを認識したり、感触を指で楽しんだりしながら、様々な物に変身した「まるちゃん」を採す内容となっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ドットや縞模様など4種類の感触をもつ○（まるちゃん）が、1ページにつき一つのテーマで色や模様を変えていく内容で構成されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1ページあたりの文字数は少なく、平仮名や片仮名を負担なく学習することができる。また点字が併記されているので、点字への興味・関心を喚起しやすい内容である。</li> <li>児童の実態に合わせて、色や形、身近な物の名前、感触遊びなど、様々な方向から学習を進めることができる。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>蛇腹状に折られているページを広げることで、パノラマのようにして扱うことができ、楽しく読み進めることができる。</li> <li>絵ははっきりとした色使いで描かれ、親しみやすい。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>児童が興味・関心を持ちやすい身近な物、触った感触、色や形などについて、視覚に障害のある児童を含め、誰もが触って、見て楽しむことができるように工夫されている。</p>								
価	<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table>					A	B	○	◎
A	B								
○	◎								

種目	生活	書名	No.17 絵本図鑑シリーズ8 やさいのずかん	発行者名	岩崎書店				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>季節ごとの身近な野菜の種、葉、花、実が、柔らかい色彩の絵で、分かりやすく豊富に紹介されている。</li> <li>身近な野菜についての絵や解説を通し、種から実までの生長過程が理解できるとともに、野外での観察や栽培などの体験活動へ発展させることに適した内容となっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>春から秋にかけての畑の様子を織り交ぜて、それぞれの野菜が種から芽を出し、育っていく様子が順に取り上げられており、変化を捉えやすくなっている。</li> <li>様々な野菜について、花や実、種、芽、葉、根の部分ごとに見開き2ページにまとめられており、それぞれの野菜の特徴を捉えて、細かく観察しやすい配列となっている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>巻末の「さくいんとかいせつ」のページには、野菜ごとに詳しい説明が掲載されており、指導者が実際に栽培、調理実習をする際に利用できるようになっている。</li> <li>種の発芽から実になるまでの様子が、数種類の野菜を対比させて紹介されており、興味・関心を引き出すことができるように工夫されている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一つ一つの絵が写実的で丁寧に描かれており、色彩も美しい。</li> <li>表紙が厚く、装丁もしっかりしている。</li> </ul>								
価	<p>(総評)</p> <p>身近な野菜が、絵を使って分かりやすく紹介され、児童の興味・関心を喚起しやすく構成されている。季節ごとの野菜の種類や生長の様子を具体的に学習できる内容となっている。</p> <table border="1" data-bbox="1152 902 1460 1061"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td></td> </tr> </table>					A	B	◎	
A	B								
◎									
種目	生活	書名	No.18 子どもの生活(3) マナーをきちんとおぼえよう!	発行者名	偕成社				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活の基本的な生活習慣に焦点を当て、食事の仕方やトイレの使い方などの具体的な場面での一連の動作について解説し、望ましい生活習慣やマナーについての理解を深め、社会性の向上を促すことができる内容となっている。</li> <li>それぞれの場面で、動作の手順等が絵で示されており、児童が実際に練習や実践を重ねることで、社会的自立を促せるような内容となっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活の中でも児童が想起しやすい基本的な場面が取り上げられており、具体的に実践しながら学習できる効果的な配列となっている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指導の重点となる事項が見出しとして大きく示され、状況や場面が具体的にイメージできる挿絵が多く盛り込まれているので、実際の指導に結び付けやすくなっている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指導の重点となる事項を、流れに沿った挿絵や吹き出しで強調するなどの工夫がなされており、文と挿絵のバランスも適切である。</li> <li>表紙は堅ろうで、しっかりした装丁である。紙質も扱いやすい適当な厚みである。</li> </ul>								
価	<p>(総評)</p> <p>日常生活における基本的な生活習慣が取り上げられており、児童の生活を豊かなものにしていくために必要な内容で構成されている。</p> <p>手を洗う際の水道の使い方や外出前の身だしなみの確認の仕方など、日常生活で見落としがちな点を取り上げ、確認しながら学習を進めやすい内容となっている。</p> <table border="1" data-bbox="1145 1783 1453 1944"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> </table>					A	B	◎	○
A	B								
◎	○								

種目	生活	書名	No.19 子どものマナー図鑑(1) ふだんの生活のマナー	発行者名	偕成社				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活の中で身に付けておきたい基本的なマナーを様々な場面ごとに取り上げ、親しみやすい絵で具体的に学習できる内容となっている。</li> <li>身近に経験することの多い場面でのマナーや手順について説明されており、様々な生活場面での適応能力や社会性の向上を図ることができる内容となっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見開きに日常生活の一場面を描き、それぞれの場面におけるマナーや望ましい行動について具体的に示されており、詳細な説明と分かりやすい絵で児童が理解しやすいように工夫されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>食事やトイレでのマナーの他、電話のかけ方や留守番の仕方など、内容も豊富で、日常生活の様々な場面での指導に適している。</li> <li>解説は詳細で丁寧であり、教師と一緒に学習することで理解を深め、児童の発達段階や実態に合わせて学習できるようになっている。また大切な点は、絵に手順を入れてページ下部などに掲載し、より具体的な説明が加えられている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>場面ごとに見出しが付いていて、内容が一目で分かりやすい。</li> <li>文字は小さいが、漢字に振り仮名が振ってあり読みやすい。</li> <li>表紙は厚く、紙質、装丁ともにしっかりとした作りである。</li> </ul>								
価	<p>(総評)</p> <p>基本的な生活習慣に関するマナーから、社会生活を気持ち良く過ごすためのマナーまで、幅広く扱っている。絵を見ながら状況をイメージしやすく、具体的に学習できるような構成になっている。</p> <table border="1" data-bbox="1152 904 1461 1064"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>					A	B	○	
A	B								
○									
種目	生活	書名	No.20 坂本廣子のひとりでクッキング (2) 昼ごはんつくろう!	発行者名	偕成社				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>比較的簡単に作ることができる料理の名前や材料、調理の仕方が分かり、食べ物や調理への興味・関心を喚起させる内容となっている。</li> <li>主食を中心としたメニューを通して、基本的な道具の扱い方や材料、調理方法などが取り扱われており、実生活に生かしやすい内容となっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調理に関わる一連の基本的な内容を身に付けることができるように、見開きに道具、材料、調理の手順が配列されている。</li> <li>調理の手順には大きく番号が振られ、挿絵を見ながら順序よく調理することができるように配列されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>挿絵や写真を使い、視覚的に分かりやすく、興味を持って学習に取り組めるような内容となっている。</li> <li>基本の料理とともに、違う材料を使った応用的な料理も示され、実態に応じて発展的に取り組める内容となっている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>料理の完成までの手順が見開きで分かりやすく示され、完成した様子を写真で確認できるように配置されている。</li> <li>紙質が良く、装丁もしっかりしている。見開きにした時に閉じにくく、調理しながら見やすいようになっている。</li> </ul>								
価	<p>(総評)</p> <p>比較的簡単な料理を取り上げ、料理の名前、材料、調理の仕方、後片付けの仕方を分かりやすく紹介しており、食生活への興味・関心を引き出すことができるよう構成されている。</p> <table border="1" data-bbox="1152 1814 1461 1973"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td></td> </tr> </table>					A	B	◎	
A	B								
◎									

種目	生活	書名	No.2 1 木村裕一・しかけ絵本(1) みんなみんなみ一つけた	発行者名	偕成社				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>楽しい遊びとして描かれている動物たちのかくれんぼの様子を通してかくれんぼのきまりを理解したり、友達と関わって遊ぶことの楽しさを感じたりする内容となっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一通り読めば、かくれんぼの遊びを理解でき、その分量は多すぎることがなく適切である。</li> <li>隠れている場面と見つける場面とが見開きごとに繰り返され、先を期待する面白さにつながるものとなっている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文章はすべて平仮名で、更に分かち書きで書かれており、国語の入門期の児童にとって読みやすいように配慮されている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>紙面に切り抜かれている箇所があり、それがヒョウの後ろ姿であったものが、ページをめくると蝶々の模様になるなど、レイアウトの工夫が施されており、児童が楽しみながら読むことができる。</li> <li>装丁がしっかりしており、何度も繰り返して読むことができる。</li> </ul>								
価	<p>(総評)</p> <p>擬人化された動物たちがかくれんぼをして遊んでいる様子がかわいらしい絵で描かれている。ページの中に切り抜きがあり、ページによって異なる動物の様子に見せるなどの仕掛けを通して、かくれんぼの楽しさが分かるように工夫されている。</p> <table border="1" data-bbox="1152 954 1458 1111"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td></td> <td>◎</td> </tr> </table>					A	B		◎
A	B								
	◎								
種目	生活/道徳	書名	No.2 2 木村裕一・しかけ絵本(1 2) げんきにごあいさつ	発行者名	偕成社				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「おはよう」から「おやすみ」まで、一日の中で使用する基本的な挨拶を取り上げた内容となっている。</li> <li>挨拶について、どのような場面で使うのか、どのように受け答えするかを学べる内容となっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童の生活につながるよう、起床の場面や友達の家への訪問の場面、友達の誕生会の場面、そして、帰宅と就寝の場面を一日の流れとして、それぞれの場に応じた挨拶が取り上げられている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶の言葉が大きく太字で示され、場面に合った適切な挨拶やその受け答えも学べるように工夫されている。</li> <li>扉をめくると場面が変わる仕掛けがあり、興味を喚起するように工夫されている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見開きに親しみやすい絵で生活の一場面が描かれており、見やすく分かりやすい。</li> <li>色彩が柔らかく親しみやすい。</li> <li>紙質が堅ろうでめくりやすく、装丁もしっかりしている。</li> </ul>								
価	<p>(総評)</p> <p>主人公の一日の生活の流れが描かれており、児童にとって身近である。親しみやすい絵や大きめの文字、扉の仕掛けなど、興味を持ちながら様々な場面での基本的な挨拶を楽しく学べるものとなっている。</p> <table border="1" data-bbox="1152 1733 1458 1890"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table>					A	B	○	◎
A	B								
○	◎								

種目	生活/道徳	書名	No.23 うれしいさん かなしいさん	発行者名	東京子ども図書館				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ダイレクトに「うれしいさん」と「かなしいさん」という名前のキャラクターを登場させ、分かりやすく身近な出来事に対する感情の変化を共感させる内容となっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前から読むことも後ろから読むこともでき、どちらから読んでも、物語は本の真ん中で、うれしい気持ちで終わるという構成である。</li> <li>「うれしい」ことと「かなしい」ことを交互に取り上げることで、それに伴う感情の起伏といった心のあり方に気付かせやすい構成になっている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>擬人化することで、気持ちを分かりやすく捉えられ、うれしい気持ちや悲しい気持ちを自分の気持ちとして気付けるように工夫されている。</li> <li>身近な人との関わりの中で、悲しい気持ちがうれしい気持ちに変化するところから、人との関わりへの興味・関心を喚起させる工夫がなされている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「うれしいさん」は赤色の文字と口で、「かなしいさん」は青色の文字と涙で、気持ちを視覚的に分かりやすく表現している。</li> <li>白地に赤・青・黒の三色で作られており、見やすい。装丁もしっかりしている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>気持ちという形のないものを擬人化することで、心やその変化を捉えやすくしているとともに、心の変化やそこに関わる身近な人とのつながりについての気付きを促すことができる。</p>								
価	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table>					A	B	○	○
A	B								
○	○								
種目	生活	書名	No.24 はっけんずかん しょくぶつ	発行者名	学研				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童にとって身近な植物の詳しい絵や写真がふんだんに掲載されており、実物と名称を結び付けやすい内容になっている。</li> <li>花の形態や花が枯れたときの様子、その種子の様子などが掲載されており、それぞれの植物の様々な状態を学習することができる内容となっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>植物が春から秋にかけて、季節ごとや種子の形、花の色ごとに分類されており、類似した植物を学習しやすいように配列されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>絵のあるページでは、めくれる仕掛けが随所に施されている。朝と夜では花の様子が違う植物について、仕掛けをめくってその違いを比較したり、種子の様子や地中の様子を、仕掛けをめくって比較したりすることで、植物に対する児童の興味・関心を喚起するよう構成されている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>紙質は頑丈であり、装丁もしっかりしている。</li> <li>見開きで見やすく、平仮名と片仮名で表記されている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>野草をはじめとして、花壇で見られる花、食卓に並ぶ野菜まで、児童が普段から目にすることのある身近な植物を幅広く扱っており、児童がその名称や生長の様子について、興味や関心を持って学習に取り組みやすい内容になっている。</p>								
価	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> </table>					A	B	◎	○
A	B								
◎	○								

種目	生活	書名	No.25 えいごではなそう！ ミニオン ABC のえほん	発行者名	小学館				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日常的によく使われる英単語を扱っている。ページの上部には英単語、下部には英単語に関連する口語を掲載している。英単語の下には片仮名で発音を、平仮名で単語の意味を表記している。</li> <li>後半には、日常でよく使われる「どうぶつ・いきもの」、「うんどう」、「いろ」、「かず」、「あいさつ」が紹介されている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1ページごとアルファベット順に学習できるように配列されている。各ページには、そのアルファベットを頭文字とした英単語が3つ記載されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各英単語の下には実際の発音の目安となる仮名発音が記載され、強く発音する音は、太い文字で表記されている。</li> <li>二次元コードを利用して実際の発音を聞くことができ、英語の発音が分かりやすく、親しみを持てるように工夫されている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ページごとに情報がまとめられており、分かりやすい。</li> <li>色彩は鮮明で視覚的に分かりやすく、文字が大きく見やすい。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>児童に親しみのあるアニメキャラクターが登場し、アルファベット順に英単語を紹介していて、児童にとって興味・関心を持ちやすい内容となっている。</p>								
価					<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table>	A	B	○	◎
A	B								
○	◎								
種目	生活	書名	No.26 とことこえほん バスがきました	発行者名	童心社				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな動物をイメージした形のバス停に、次はどんなバスが来るのか、想像力を働かせながら楽しんで読むことができる内容である。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バス停だけ描かれたページを見て、次のページではどんな動物がどんなバスに乗ってやって来るのか、期待感と想像力を喚起させるような配列となっている。</li> <li>絵が見開き2ページと大きく、文字数も少なく児童が読みやすい分量になっている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>動物をシンボル化したものをバス停の形にしており、どんなバスが来るか児童が想像しやすいように工夫されている。</li> <li>クイズ形式で構成されており、読み手とのやりとりに発展することができる。児童への読み聞かせにも適している。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>絵は単純化され、字の大きさや形が見やすい。色彩や印刷も鮮明である。</li> <li>紙質がよく装丁もしっかりしている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>次はどんな動物やバスが登場するか、児童が興味・関心を持って学習できる内容となっている。動物や乗り物への関心を高めることができるとともに、読み手とのやりとりも楽しむことができる内容となっている。</p>								
価					<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td></td> <td>◎</td> </tr> </table>	A	B		◎
A	B								
	◎								

種目	生活	書名	No.27 こども写真ひやかか はたらくくるま大図鑑 DX (デラックス) DVD 付き	発行者名	永岡書店
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分と身近な社会との関わりとして、働く車が取り上げられており、興味・関心を高めながら、働く車の種類や働きについて学習できる内容になっている。</li> <li>「公共施設」や「交通機関」の利用にもつながる内容となっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「工場現場ではたらく車」「サイレンカー」「街ではたらく車」の三つで構成され、さらに役割ごとに働く車が掲載されており、車の分類の概念形成にも役立つ内容である。</li> <li>車に付いている道具や装備について、ワンポイントの解説があり、それぞれの働きが分かるように示されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>写真が豊富に使われており、取り上げた写真と解説を通して、働く車の大きさや役割、部位や機能が捉えやすく、理解しやすくなっている。</li> <li>働く車に関する映像と解説のDVDが付いており、児童が興味を持った車を選んで見ることができ、意欲的に学習できるように工夫されている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>厚手の硬い紙で丈夫に作られ、装丁もしっかりしている。働く車は全て写真で示されており、人や建物など比較するものを入れるなど、大きさが想像できるよう工夫がされている。</li> <li>三つの構成ごとに見出しの色を変えており、色でも分類し捉えることができるようになっている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>働く車について、豊富な写真やDVDを見ることで、視覚や聴覚を使って理解を深めることができるようになっている。普段あまり見ることのできない働く車も紹介されており、児童の興味・関心を発展的に広げることができるように工夫されている。</p>				
価				A	B
				◎	○
種目	生活	書名	No.28 ひとりでできる手づくりBOX しぜんで工作しよう	発行者名	岩崎書店
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>枝、葉、木の実、小石、流木等、身近な自然素材での工作例が数多く示されている。素材のおもしろさを味わうだけでなく、工作を通して素材の特徴を理解することにつながる内容である。</li> <li>同素材で複数の工作例が紹介され、児童の興味・関心に応じて、制作活動を展開することができる内容となっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>森、川、海など多岐にわたる自然が取り上げられ、多くの地域で身近に触れることができる素材が扱われている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの場所で手に入りやすい素材を用いることで、制作活動だけでなく、その場所への興味・関心につなげることができる。</li> <li>素材の形から連想したものを、自由に表現しようとする意欲を喚起しやすい内容となっている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作品例が写真で多く紹介されており、児童が制作するときにイメージしやすい。</li> <li>制作工程が色彩豊かな絵で表現されており、見やすく工夫されている。</li> <li>1ページの情報量が多すぎず、分かりやすくまとめられている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>身近な自然の素材を用いた工作例を通し、自然への親しみを持てるような内容になっている。</p>				
価				A	B
				◎	○



種目	生活	書名	No.29 こども きせつのぎょうじ 絵じてん 第2版小型版	発行者名	三省堂					
評    価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の年中行事の由来や歴史、使われる道具、まつわる言葉などが、豊富な絵とともに分かりやすく説明されている。行事の意義を理解したり、季節感を身に付けたりするきっかけにすることができる内容である。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年中行事や記念日、祝日などが月ごとのくくりの中で一つ一つの項目として取り上げられており、四季を感じながら順番に学んでいくことができる。また、興味・関心のあるところから学んでいくことも可能な配列となっている。</li> <li>1ページや見開きで一つの内容を扱っており、適切な分量である。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各月の初めのページがなじみのある季節の歌となっているなど、興味・関心を喚起しやすいような配慮がなされている。</li> <li>各月の最後に、関連する料理や工作のページが取り入れられており、行事に関する知識の習得だけでなく、発展的・体験的な学習が可能である。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>項目ごとの見出しが大きくて見やすく、挿絵の人物の表情も豊かで、色彩も鮮明である。説明の文字の大きさ、文字数も適切である。</li> <li>表紙の硬さや大きさが適切であり、手に収まりやすく持ちやすい形状である。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>日本の伝統的な年中行事について、体験的な活動も含めながら多面的・体系的に学習することができる内容である。</p>					<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td></td> </tr> </table>	A	B	◎	
	A	B								
◎										
	生活	書名	No.30 こどもマナーとけいご 絵じてん	発行者名	三省堂					
評    価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭生活や学校生活、外出先での児童に身に付けてほしい心掛けや思いやりといった基礎的な内容から丁寧に取り上げている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>テーマや場面ごとに必要なマナーを見開きで確認できるように構成している。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>挿絵の吹き出しに書かれた敬語が具体的で、児童が理解しやすく、指導する際にも活用しやすい。</li> <li>テーマごとに「おうちのかたへ」というコーナーが設けてあり、保護者だけでなく、教師が指導する際の参考にすることもできる。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>挿絵と解説が対で表現されており、漢字に振り仮名も振ってある。</li> <li>優しいタッチの豊富な挿絵は、親しみやすく理解を促しやすい。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>生活に必要な場面が豊富に取り入れられ、マナーや敬語についてイメージしやすいように、豊富な挿絵を用いながら解説している。</p>					<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td></td> </tr> </table>	A	B	◎	
	A	B								
◎										

種目	生活	書名	No.31 こどもぼうさい・ あんぜん絵じてん	発行者名	三省堂				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活の中で起こり得る事故や自然災害、犯罪などに備えて、危険を回避して安全に暮らすための知識や方法を学ぶことができる内容である。</li> <li>事故や自然災害、犯罪などの危険が想定される場面や事象ごとに、注意を向ける点や取るべき行動について理解を深めることができる。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事故や自然災害などの事柄ごとに構成されている。更に一つのテーマごとに見開きで配列されているため、学習場面に応じた活用ができるように配慮されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一つの項目ごとに挿絵に説明を添えた構成になっており、発達段階や特性等に応じた学習ができるよう工夫されている。</li> <li>交通安全教室や防災訓練等の事前・事後学習にも活用することができる。</li> <li>見開きごとに保護者向けの補足説明があり、家庭生活の中でも活用できるよう配慮されている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な場面が分かりやすい挿絵で表現されており、親しみやすく興味・関心を持って見ることができる。</li> <li>紙質が良く、丁寧な装丁で仕上げられている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>日常生活の中で起こり得る事故や自然災害、犯罪などについて理解し、防災や防犯、安全に対する意識を高めることのできる内容になっている。</p>								
価				<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td></td> </tr> </table>	A	B	◎		
A	B								
◎									
種目	生活	書名	No.32 子どもの生きる力を育てる せいかつの絵じてん	発行者名	ナツメ社				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童の日常生活に必要なスキルが絵や写真で表わされており、理解しやすい内容である。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「食べる」「きる」「くらす」という生活に欠かすことのできない三つの事柄を自分でできるようにするために、挿絵や写真を見て理解できるように取り上げられている。</li> <li>「コラム」「チャレンジ」「おさらいクイズ」があり、発達段階に応じた発展的な学習ができるようになっている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童の興味・関心を高めるような挿絵や写真でまとめられており、調べたい項目を自分で探しながら学習することができるようになっている。</li> <li>「くらしを楽しむ」では、余暇活動についても取り上げられ、生活を豊かにし、楽しむための配慮がある。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>項目ごとに料理の仕方や衣服の洗濯の仕方などの過程を写真で順番に見ることができるようになっており、理解しやすい体裁となっている。</li> <li>紙質の手触りが良く、丁寧な装丁で仕上げられている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>日常生活や季節などについて、体験的な活動を取り入れながら児童の生きる力を育て、自立に向けた学習を多方面から行うことができる内容になっている。</p>								
価				<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> </table>	A	B	◎	○	
A	B								
◎	○								

種目	生活	書名	No.33 小学館の子ども図鑑プレNEO はるなつあきふゆ楽しく遊ぶ学ばせつの図鑑	発行者名	小学館				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報量は豊富であるが、写真や絵が効果的に用いられていて、見ているだけで楽しみながら大まかな内容が分かるように工夫されている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>季節ごとに「ぎょうじとくらし」「うた」「ことば」「いろ」「しぜん」の項目で掲載されており、季節ごとの特徴を比較しながら学ぶことができるように工夫されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な素材や自然素材を使った遊びや工作、生き物の飼い方や植物の育て方、季節の歌など、遊びや学習につながる内容が多く紹介されている。</li> <li>興味・関心の幅を広げる内容で、他教科との関連も図りやすくなっている。</li> <li>体験につなげるヒント等、大人向けの解説がページ下に掲載されており、指導の参考になる。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大きな見出しは平仮名で書いてあり、読みやすい。</li> <li>説明の文章は小学校低学年程度の漢字を使用し、振り仮名が振られており、読み進めやすい。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>一年間の四季の移り変わりや季節ごとの行事やくらし、自然などについて紹介されている。児童の好奇心に応じて生活科、国語、社会、理科、音楽、図工などの学習に活用できる内容となっている。</p>								
価					<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> </table>	A	B	◎	○
A	B								
◎	○								
種目	生活	書名	No.34 光る★音でる♪知育絵本 リズムにのってぼんぼこたいこ	発行者名	朝日新聞				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>童謡やアニメソングを含む14曲と37種類の効果音が鳴る仕組みになっており、ボタンを操作することで歌ったりリズム遊びを楽しんだりすることができるような内容となっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>絵は見開き2ページとなっており、操作ボタンを操作しながらでも見やすいように工夫されている。</li> <li>好きな曲を選んでリズム遊びをするだけでなく、歌詞の上に描かれているマークの通りにボタンを押すことで、曲に合わせてリズム打ちを楽しむこともできるようになっている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>楽器の音を自分で選択することはできないが、ランダムに流れる音の効果は聴覚的な刺激や楽しさがある。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>絵本部分の挿絵は色鮮やかで親しみやすく、紙質も程よい厚みがあり、めくりやすい。</li> <li>操作ボタンのある打面は軽いタッチでも音を鳴らすことができ、プラスチック製で破損しにくい作りになっている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>挿絵や歌詞が書かれてある絵本部分と音を出すための操作ボタンがある部分に分かれており、メロディを聞きながら歌ったりリズム打ちをしたりしながら楽しむことができる知育絵本である。</p>								
価					<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td></td> <td>◎</td> </tr> </table>	A	B		◎
A	B								
	◎								

種目	生活	書名	No.35 おとのなるしかけえほん おにわのおと	発行者名	大日本絵画				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活の自然にある音を取り上げ、センサーに触れることで10種類の音を聞くことができる仕組みになっている。身近な体験と重ね合わせることができる。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>朝昼晩など時間の変化や天候の変化に合わせて音が聞けるようになるようになっている。</li> <li>音の分量としては少なく感じる。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童が音の対象を認識しやすいように、音の基になる動物や事象の挿絵のそばにセンサーが取り付けられている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>色鮮やかな挿絵で楽しく見ることができたり、表面に凹凸をつけることで触れて楽しんだりできるように工夫されている。</li> </ul>								
価	<p>(総評)</p> <p>色鮮やかな挿絵や身近に聞いたことのある音を自分で選択して出すことができる仕組みで、児童の知的好奇心や実践意欲を喚起させる内容になっている。</p>								
				<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> </tr> </table>	A	B		○	
A	B								
	○								
種目	生活	書名	No.36 おとがなるさわるしかけえほん にぎやかなりもの	発行者名	大日本絵画				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童が知っているような乗り物の音を取り上げ、センサーに触れることで聞けることができる仕組みになっている。乗り物についての説明もあり読み聞かせながら学習できる。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>左ページには乗り物の説明、右ページには乗り物の写真を掲載し、見開きで1つの乗り物について学ぶことができるようになっている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多くの写真を掲載することで児童の目を引くようになっていたり、音を鳴らすためのセンサーは素材や色を乗り物によって変えていたり工夫されている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文字は大きく、片仮名には振り仮名が振られていて見やすくなっている。</li> <li>表紙は丈夫で児童が持ち運ぶにも良い大きさである。</li> </ul>								
価	<p>(総評)</p> <p>児童が知っているような乗り物を取り上げ、写真と音で掲載されている乗り物についてのイメージを広げやすい内容になっている。</p>								
				<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td></td> <td>◎</td> </tr> </table>	A	B		◎	
A	B								
	◎								

種目	生活	書名	No.37 音と光のでる絵本いっぱいスイッチ	発行者名	成美堂出版				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>回す、押す、スライドさせるなど児童が操作することで音が鳴る仕掛けを取り入れていることで、児童が興味・関心を高めながら指先を使った感覚遊びができるようになっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指先の多様な操作を学びやすい内容で、いろいろな指の動きを体験できるボタンやレバーが配置されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実際に触れることができ、それに伴って音や言葉が出ることで、児童の興味・関心を喚起し、主体的に取り組めるようになっている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スイッチやボタンが色鮮やかで、大きく扱いやすいものになっている。</li> <li>全体的に厚みがあり、頑丈に作られている。</li> </ul>								
価	<p>(総評)</p> <p>内容的には未就学児が使用するものに近いが、いろいろな指の動きを体験させるとともに聴覚的にも楽しめる絵本になっている。</p>								
					<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> </tr> </table>	A	B		○
A	B								
	○								
種目	生活	書名	No.38 やさしくわかるびょうきのえほん どうしてかぜをひくの？インフルエンザになるの？	発行者名	金の星社				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>かぜやインフルエンザの原因から予防の仕方などを男女の絵で分かりやすく示しており、自分の体に対する理解と健康管理について学べる内容になっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>かぜやインフルエンザについて、ともに病気の症状や原因、予防法などの流れで配列されていて見やすくなっている。</li> <li>内容についても児童が理解しやすい文章量で記載されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>病気の症状や予防の仕方について絵で示されていて、理解しやすく主体的に取り組めそうな内容になっている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>色の発色もよく手触りの良い用紙を使用している。</li> <li>文字は色の使い方や大きさなどが見やすく工夫されている。</li> </ul>								
価	<p>(総評)</p> <p>色鮮やかで大きな絵でかぜやインフルエンザに関する知識を分かりやすく説明している。また、巻末には教師や保護者が見ても参考になる内容が掲載されている。</p>								
					<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> </table>	A	B	◎	○
A	B								
◎	○								

種目	生活	書名	No.39 やさしくわかるぼうさい・ぼうはんのえほん じしん・つなみどうするの？	発行者名	金の星社				
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地震や噴火が起きた時にどのように対処したらよいかを絵や文字で分かりやすく説明していて、自分の身を守るための知識を身に付けられるようになっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地震や噴火が起きた時の様子、自分の身の守り方、自分のいる場所に応じた避難の仕方などを一貫した流れで分かりやすく掲載されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人物や背景の絵を見るだけでも状況が分かるようになっていることで、児童が主体的に学べるような配置になっている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文字の大きさは内容によって調節され、文字色も背景に応じて見やすいように変えられている。</li> <li>表紙は硬く丈夫で、紙面についても発色が良く、手触りの良いものになっている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>自然災害について日常的に備えることができるように自分の身を守るための方法が児童に分かりやすく示されている。</p>								
					<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> </table>	A	B	◎	○
A	B								
◎	○								
種目	生活/道徳	書名	No.40 幼児絵本シリーズ (くまくんの絵本) どうすればいいのかな？	発行者名	福音館書店				
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子熊の誤った着衣場面を示し、正しい着衣の仕方を引き出す問い掛けになっており、適切に衣服を身に着けることに興味・関心を持つことができる内容になっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童の考えを引き出しやすいように、見開きで一つの被服の謝った身に着け方と正しい身に着け方が対で示されている。</li> <li>日常的に身に着ける衣服に絞って取り上げられており、分量も適切である。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子熊の誤った着衣場面をユーモラスに描くことで、児童が適切に衣服を身に着けることに興味・関心が持てるように工夫されている。</li> <li>読み手に問いかける文体となっており、自ら考えようとする意欲を引き出すような配慮がなされている。</li> <li>衣服の種類によって「着る」「はく」「かぶる」等、身に着けるときの適切な表現を学習することができる。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文字は大きく、平仮名で書かれている。</li> <li>白の背景に柔らかな色彩の絵が適切な大きさに配列されており、捉えやすい。</li> <li>表紙が厚く、紙質も良い。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>日常的に用いる着衣に興味・関心を持ち、適切に身に着けようとする意欲が喚起されるような構成になっている。</p>								
					<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td></td> <td>◎</td> </tr> </table>	A	B		◎
A	B								
	◎								

種目	国語/道徳	書名	No.4 1 こどものとも絵本 しんせつなともだち	発行者名	福音館書店				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活でよく使用されている言葉が平仮名で書かれており、絵本を繰り返し読むことで、身近な表現を身に付けることができる。</li> <li>分ち書きで書かれているので、言葉のまとまりを捉えやすい。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>絵は見開き2ページを大きく使い、とても見やすい。雪を表している白い部分に動物の様子が文章表現されており、その分量は適切なので、児童は飽きることなく何度も読むことができる。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>親切にすることや友達に優しくすることに気付かせたり、考えさせたりできるように配慮されている。</li> <li>描かれている動物は擬人化されているが実物に近く、動物本来の姿を想像できるように配慮されている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>横に長い形の書籍で、横への広がりがある構図の絵が描かれ、児童が魅力を感じるように工夫されている。</li> <li>文字の大きさは適切であり、描かれている動物や風景は色彩豊かで見やすい。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>動物たちが友達へ野菜を届けようとする様子が描かれており、絵とそこで使用されている言葉を対比させることによって言葉の意味や使い方を理解できるようになっている。</p>								
価									
					<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> </table>	A	B	◎	○
A	B								
◎	○								
種目	国語	書名	No.4 2 あっちゃんあがつたべもの あいうえお	発行者名	リーブル				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>リズムカルな言葉とともに、児童が好む食べ物の絵が描かれ、文字を見ながら声に出したり、絵を見ながら言葉にしたりしやすい内容になっている。</li> <li>食べ物の名前を通して、平仮名五十音や濁音、半濁音に親しむ内容となっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見開きに一文字だけ取り上げ、その文字をじっくり学習しやすくなっている。文字は五十音順に配列され、後半は濁音と半濁音も取り上げられている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見開きの左側には、強調したい文字に色が付けられ、その文字で始まる言葉が別の色で目立つように書いてあるので、読みやすくなっている。</li> <li>言葉に合う絵が見開き左側の下や見開き右側に配置されていて、児童の興味・関心を引くように工夫されている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童にとって身近な食べ物を取り上げている。絵は色彩が鮮明であり、キャラクターは表情豊かで、児童が魅力を感じるように工夫されている。</li> <li>表紙の硬さや大きさが適切であり、手に収まりやすい。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>全ページにわたって言葉が韻を踏んだフレーズでリズムよく配列されている。見開きで、文字とユーモアのあるおいしそうな食べ物の絵が描かれ、児童の興味・関心を引くような絵本となっている。</p>								
価									
					<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table>	A	B	○	◎
A	B								
○	◎								

種目	国語	書名	No.43 指さし・指なぞり あいうえお	発行者名	ひかりのくに
評					
価					
種目	国語	書名	No.44 くまたんのはじめてシリーズ よめるよよめるよあいうえお	発行者名	小峰書店
評					
価					

(1)  
 ・ 一文字一文字にしっかりと注目しながら指なぞりをすることによって、文字の形を感覚的に習得することができるが、教科用図書の書体と異なる文字がある。

(2)  
 ・ 見開きに一文字だけ取り上げ、その文字をじっくり学習できるように配慮されている。文字は五十音順に配列され、最後の「あいうえおひょう」で確認できる構成である。

(3)  
 ・ 見開きの右側には、なぞるのに適度な大きさと太さで平仮名が示されており、文字の形に集中して指なぞりができるように配慮されている。  
 ・ 同じ文字から始まる他の単語も記載されている。また、それらを含む全ての単語の英語名も記載されているので、発展的な学習に取り組むことができる。

(4)  
 ・ 色彩が鮮明で、写真と平仮名が左右にバランスよく配置され、見やすく工夫されている。動物にテーマを絞っているため、扱う動物があまり児童が身近に感じるものでないように感じる。  
 ・ 表紙が厚く、紙質が良く、装丁もしっかりしている。

(総評)  
 見開きで写真と一つの文字をしっかりと対応させつつ、指さしや指なぞりなどをしながら、文字に親しんだり、習得したりすることができる。

A	B
○	◎

(1)  
 ・ 絵本を通して学習した文字や言葉を、そのまま実生活で生かせる内容となっている。  
 ・ 主人公の生活を通して平仮名五十音に親しむ構成、内容になっている。

(2)  
 ・ 平仮名が五十音順で配列されており、1ページに一文字ずつ、そのページで学習する文字から始まる短文が表記されている。  
 ・ 表、裏表紙の裏面にそれぞれ五十音表があり、学習のまとめとして活用できる。

(3)  
 ・ 主人公の生活の一場面を示した絵が描かれており、絵の内容を短文に表すことで、言葉に親しめるように配慮されている。

(4)  
 ・ 色彩が柔らかく、適当な余白があり、絵と短文が読みやすく配置されている。  
 ・ 表紙が厚く、紙質が良く、装丁もしっかりしている。

(総評)  
 見開きで示された大きめの絵を見ながら、平仮名と文に親しめる内容となっている。初めて「あいうえお」を学ぶ際に、絵で様子を思い浮かべたり、動作化したりしながら児童が楽しく学習に取り組めるように工夫されている。

A	B
	◎



種目	国語	書名	No.45 ゆっくり学ぶ子のための「こくご」1(改訂版) (ひらがなのことば・文・文章の読み)	発行者名	同成社				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平仮名の単語の読みから短い文章の読み取りへと学習が進められるようになっている。</li> <li>助詞や形容詞、接続詞、主語、述語などの文法も学習できる内容になっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単語から文、簡単な文章へと構成されており、文字も大きい文字から小さい文字へと変えていくなど、易から難へと配列されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発音の練習や絵と言葉を対応させる学習から、絵や文を手掛かりに質問に答える学習まで、段階的に言語や読解の力を身に付けることができるよう配慮されている。</li> <li>一つ一つの文章は簡潔で短く、理解しやすいように配慮されている。</li> <li>最後の方には少し長めの物語や説明文が配置され、既習事項を生かしてまとめの学習ができるように工夫されている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童が、絵から自分の経験したことを基にイメージを膨らませて、楽しく学習に取り組めるよう工夫されている。</li> <li>カラー、白黒のページが混在しており、目に優しく見やすい配慮がされている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>発音から文法事項の理解や物語の読解まで、幅広く取り組めるように工夫されている。また、全て平仮名で表記されており、平仮名を読んで内容を理解する力を養うのに適している。</p>								
					<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td></td> </tr> </table>	A	B	◎	
A	B								
◎									
種目	国語	書名	No.46 ゆっくり学ぶ子のための「こくご」2(改訂版) (かたかな・かん字の読み書き)	発行者名	同成社				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活で使う片仮名や簡単な漢字を取り上げ、絵を見ながら学習することで、片仮名と簡単な漢字を読み書きする力を身に付けやすい内容となっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童が分かりやすいように、片仮名が絵とともに五十音順に配列されている。</li> <li>漢字の成り立ちを意識しながら、徐々に漢字の読み方と書き方の学習ができるよう、易から難への配列がきめ細くくなされている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童が日常生活でよく目にする物を一文字につき一つずつ取り上げて片仮名で表現されており、学習しやすい。</li> <li>後半には、直接文字をなぞったり書き込んだりできるページがあり、使いやすくなっている。書き取り練習では筆順を意識しながら文字を書く練習ができるように工夫されている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文字が大きくて読みやすく、絵の配置やバランスも適切である。</li> <li>片仮名は大きな文字から小さな文字へ、漢字は少し大きめのままと、読み書きしやすいように使い分けられている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>読むこと、書くことの順に配列されており、片仮名と漢字の読み書きを段階的に学習できる構成になっている。</p>								
価					<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td></td> </tr> </table>	A	B	◎	
A	B								
◎									

種目	国語	書名	No.47 ゆっくり学ぶ子のための「こくご」3 (改訂版) (文章を読む、作文・詩を書く)	発行者名	同成社				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童の生活に身近な題材を、平仮名、片仮名、漢字を含む文章で取り上げ、読む力と書く力の両方が身に付く内容になっている。</li> <li>文章教材が生活や季節と関連しており、自分の生活と照らし合わせながら考えて読むことができるので、具体的な内容をイメージしながら読解力を伸ばすのに適している。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>季節の行事や児童の生活との関連が図られている。文法的な内容を含めた、言葉についての様々な学習を通して、文章を読む力や作文、詩を書く力が段階的に育成されるように配慮されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの作文や詩、日記、説明文など、多様な文章を取り上げており、言葉の意味の理解から文章の読み取りまで、能力に応じた学習ができるよう配慮されている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文字の大きさや絵の配置が適切である。教科書に直接書き込んで使用しやすくなっている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>身近な題材に関する文章を読みながら、内容を理解したり、よく考えたりできるよう工夫されている。また、様々な観点で作文や詩を書くことを通して、児童が自分の思いを詳しく表現する練習ができるように配慮されている。</p>								
価					<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td></td> </tr> </table>	A	B	◎	
A	B								
◎									
種目	国語	書名	No.48 ゆっくり学ぶ子のための「こくご」入門編2 (改訂版) (ひらがなの読み書き)	発行者名	同成社				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>絵を見ながら拗音、促音、拗長音などを含めた平仮名の読み書きが学習でき、文字や単語を書く力を習得するのに適した内容になっている。</li> <li>文字の読み書きの基礎となる異同弁別から読み書きまでを、系統的に学習できる内容になっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>異同弁別から始まり読みから書きへと配列されている。読みは清音から濁音と半濁音へ、書きは線のなぞりから視写へと、教材の配列が易から難へと構成されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>直接文字を書き込めるページがあり、使いやすい。文字の書き取り練習では、筆順を意識しながら文字を書く練習ができるように工夫されている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文字が大きく鮮明で読みやすい。分かりやすい挿絵が、文字や言葉の理解を促している。</li> <li>文字は、はね、とめ、そり等が分かりやすい字形で表しており、読みや書きの基礎を学ぶ児童にとって分かりやすい。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>平仮名の読み書きを絵とともに段階的、系統的に学習できる構成になっている。文字を読む力や文字を正しく書く力を育成する指導の展開ができるように配慮されている。</p>								
価					<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table>	A	B	○	◎
A	B								
○	◎								

種目	国語	書名	No.49 五味太郎のことばとかずの絵本 漢字の絵本	発行者名	岩崎書店
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活に即した動作、事象、事物の名称に関する漢字が取り上げられており、漢字の読みや意味を理解するのに適した内容である。</li> <li>小学校1、2年生で習う漢字を中心に取り上げ、漢字とその文字が表すものに興味を持てるように工夫されている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1ページまたは見開き2ページに、絵と関連した漢字が一緒に示されており、漢字の読み方や意味を分かりやすく捉えることができるように配列してある。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>絵は漢字の意味が分かるように簡潔に描かれており、題目ごとに楽しく学習できるように漢字の配列も工夫されている。</li> <li>振り仮名と送り仮名が色分けされており、児童の特性や学習の習得状況に応じて読めるように配慮されている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>白地を基調とした上に、ユーモラスな絵と見やすい大きさの明朝体の漢字が鮮明に印刷されており、児童の目を引くように配慮されている。</li> <li>紙質が良く、装丁もしっかりしている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>分かりやすい漢字の表記と象徴的な絵により、漢字の読み方やその意味が理解しやすい内容になっている。</p>				
価					
			A		
			○		
種目	国語	書名	No.50 五味太郎のことばとかずの絵本 ことばのあいうえお	発行者名	岩崎書店
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一つの単語に対して一人から二人の子どもが様々な動作をしている絵が掲載され、文字と言葉、動作などを一緒に学習できる。動作に関連した言葉は、絵を基に児童自身の体験を、教師や友達と話し合うことができる内容となっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1ページに一文字ずつ表記し、ページ配列は五十音順になっており、児童が学習しやすい。</li> <li>取り上げた文字について、児童が動作化を通して、体感しながら言葉を習得できるように配慮されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各ページの上段に平仮名、片仮名、ローマ字、同じ文字から始まる言葉の絵が提示してあり、児童が既習事項を繰り返して学習するだけでなく、発展的な学習に取り組めるように工夫されている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ユーモアのある絵により、生き生きとした画面構成になっている。</li> <li>場面に応じて、活字の大きさや書体を変えており、児童が書体の違いに興味を持つような表現になっている。</li> <li>紙質や装丁がしっかりしている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>日常的な行動や様子を表す言葉とユーモラスで分かりやすい表現の絵により、平仮名五十音に対する興味・関心を喚起し、動作に関連した言葉を実生活でも使うことができるように工夫されている。片仮名やローマ字の学習に発展させることも可能である。</p>				
価					
			A		
			◎		
			○		

種目	国語	書名	No.5 1 ぐりとぐらの絵本 ぐりとぐら	発行者名	福音館書店				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主人公のネズミたちが森で大きな卵を見つけ、知恵を出し合ってカステラを作り、仲間と一緒に食べるという、場面の展開を楽しむことができる内容である。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文章が分ち書きで書かれていたり、言葉遊びを取り入れてあつたりして文が読みやすく、内容が理解しやすいように配慮されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物の表情や動きが豊かであるとともに、たくさんの動物や調理器具などが登場し、児童が興味・関心を持つことができるよう配慮されている。</li> <li>リズムカルな文章による展開が分かりやすい物語なので、役割分担をして音読するなどの発展的な学習につなげることができる。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文字は小さめだが、絵は色彩豊かで柔らかく親しみがもてる。動物や草花がかわいらしく丁寧に描かれている。</li> <li>紙質が良く、装丁もしっかりしている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>言葉遊びの文章では、言葉に思い思いの節を付けて読み進めることができ、文字だけでなく音韻を感じて読むこともできる。聞いたり読んだりして言葉に親しむことから、読解の学習へ発展させることが可能である。</p>								
価									
					<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> </table>	A	B	◎	○
A	B								
◎	○								
種目	国語	書名	No.5 2 五味太郎・言葉図鑑(6) ぐらしのことば	発行者名	偕成社				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶の言葉から始まり、生活のさまざまな場面で時と場に応じた言葉の使い方があることを楽しみながら理解できる内容となっている。</li> <li>どんな時に、どんな言葉で、どのように人と関わるのかを、絵を見ながら効果的に学習できる内容となっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶の言葉や接続詞などが日常の生活場面に応じて示されている。</li> <li>話し言葉を通して、人と関わる様子が分かりやすく配列されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>絵の人物の表情が言葉の意味を上手に表現しており、児童の興味・関心が喚起されるように工夫されている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>色彩が豊かで親しみやすい絵で、レイアウトの仕方も工夫されている。言葉の意味を連想しやすいように文字が手書きで表されていて、児童が理解しやすくなっている。</li> <li>紙質が良く、装丁もしっかりしている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>生活の中の様々な場面の言葉が数多く取り上げられている。「つなぎことば」や「あいづちことば」など、理解が難しい言葉を絵と一緒に見ながら学習することで、意味や使い方を理解しやすくしている。</p> <p>人との会話で用いられるさまざまな言葉を楽しみながら学習し、実生活でも生かすことができる内容となっている。</p>								
価									
					<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> </table>	A	B	◎	○
A	B								
◎	○								

種目	国語	書名	No.53 五味太郎・言葉図鑑(1) うごきのことば	発行者名	偕成社				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活の場面を取り上げ、平仮名と絵で動詞を楽しく学べる内容になっている。</li> <li>絵本の中の絵を見て「うごきのことば」を動作化したり、その場面を考えたりしながら動詞を学習することができる。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>動詞の索引が絵とともに巻末に掲載されており、動詞を五十音順に復習するなどの学習活動にも取り組むことができるように配慮されている。</li> <li>児童にとって身近な言葉が取り上げられており、一日の生活の中で使う言葉や遊びの中で使う言葉など、分かりやすいように場面ごとに分けて配列されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>絵を見て楽しむ、言葉の意味を絵で知る、似た意味や反対の意味の言葉を見付けるなど、児童の特性や能力に応じて多様な学習が展開できるように配慮されている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>色彩豊かで親しみやすい絵が、見開きいっぱいに印刷されており、配置も工夫されている。</li> <li>文字が小さく、情報量が多いので視覚に問題のある児童には向かない。</li> <li>紙質が良く、装丁もしっかりしている。</li> </ul>								
価	<p>(総評)</p> <p>日常生活の中で使われる動詞を、絵を活用して楽しく学習することができる。家庭生活や学校生活、社会生活と、様々な場面の行動と関連した動詞を学習できるよう配慮されている。</p> <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>					A	B	○	
A	B								
○									
種目	国語	書名	No.54 日本むかし話 おむすびころりん	発行者名	偕成社				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の代表的な民話の一つで、誠実な生き方をテーマとした内容である。</li> <li>リズムカルな語り口調の文章を通して、民話特有の言葉の響きを楽しむことができる。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>同じような展開の場面を繰り返し取り上げ、善い人物と悪い人物の両者の行動や絵を対比させることにより、内容を理解しやすいようになっている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>会話や擬態語、擬音語が多く使われており、読み聞かせを通して、会話のおもしろさや言葉の響き、リズムの楽しさを味わうことができる。</li> <li>文章は分かち書きで書かれており、言葉のまとまりを意識しながら読むことができるように配慮されている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>落ち着いた色彩でユーモアのある絵が見開きに展開され、児童が親しみを感じるように配慮されている。</li> <li>紙質が良く、装丁もしっかりしている。</li> </ul>								
価	<p>(総評)</p> <p>素朴な中にも温かく、親しみのある民話である。物語の展開が分かりやすく、読み聞かせや動作化、劇化などの学習に、児童が楽しみながら取り組むことができる内容となっている。</p> <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> </table>					A	B	◎	○
A	B								
◎	○								

種目	国語/道徳	書名	No.55 フランソワーズのえほん ありがとうのえほん	発行者名	偕成社				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主人公が短い表現で身近にあるいろいろな物や人、動物などにお礼を伝えるという内容である。色鮮やかなかわいらしい絵で構成されており、「ありがとう」の言葉が柔らかく心に沁みこんでくる内容である。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見開きの左ページに文章が、右ページに絵が配置され、児童が内容を理解しやすいよう配慮されている。</li> <li>児童の身近な物や動物などが柔らかい色彩で描かれており、児童が親しみをもって物語に触れることができるように配慮されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教師からの読み聞かせを楽しむことに加え、児童自らが平仮名で書かれた文を読んだり言葉のリズムを感じたりする楽しさを味わうことができる。</li> <li>親しみやすい絵を見ながら読み進めるうちに、主人公の「ありがとう」の気持ちを自然に感じ取れるよう配慮されている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>茶色で丸ゴシック体の文字で書かれた文章の中に「ありがとう」の文字だけが鮮やかな色彩で表現されており、文字から言葉の温かさを感じ取りやすい。</li> <li>厚手で手になじむ紙質を使用している。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>主人公が読み手に話す形式で展開され、児童が主人公の気持ちを身近に感じることができる。文字を読む楽しさを味わい、共感しながら読み進めることのできる内容となっている。</p>								
価					<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table>	A	B	○	◎
A	B								
○	◎								
種目	国語	書名	No.56 もじのえほん かんじ1	発行者名	あかね書房				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校1年の配当漢字に多い象形文字や指事文字を中心に上げ、漢字の成り立ちを簡単な物語によって視覚的に分かりやすく表している。</li> <li>漢字自体が物や事象を表しているという、成り立ちを押さえた内容である。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の成り立ちについて絵・抽象・漢字の順に組織的に配列され、最後に読みの確認ができ、実際の生活の中で読んだり書いたりする学習に活用できるように配慮されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>象形文字や指事文字としての漢字の成り立ちが、分かりやすい絵で示されており、児童の興味・関心を喚起して理解しやすいように工夫されている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>絵や文字、文の配置が適切である。</li> <li>厚手で良質な紙を使用しており、装丁がしっかりしている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>日常よく使われる漢字を中心に、成り立ちを物語風に分かりやすく描いているので、親しみやすく、児童が興味・関心を持って学習を進めることができる。読み進めながら、自然に漢字を理解することができるよう工夫されている。</p>								
価					<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td></td> </tr> </table>	A	B	◎	
A	B								
◎									

種目	国語	書名	No.57 もじのえほん かたかなアイウエオ	発行者名	あかね書房				
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大きな絵とリズムカルな短い文章で構成され、絵本を楽しみながら片仮名の学習ができるように工夫されている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>五十音順に配列されており、それぞれの音で多くの例が示され、児童の発達段階に応じて学習できるよう工夫されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全ての片仮名に振り仮名が振られていて、初めて片仮名に触れる児童にも学習しやすいものとなっている。</li> <li>白抜きで文字が強調されており、文字の形を意識して学習することができる。</li> <li>文章がリズムカルであり、声に出して読むことで、音の楽しさを味わいながら学習することができる。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>絵は大きく、色彩は鮮明である。</li> <li>厚手の良質な紙を使用しており、扱いやすくなっている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>片仮名文字が一文字ずつ、親しみやすい挿絵と簡単な文章で説明されており、楽しみながら学習できるよう配慮されている。また、リズムカルな文章表現により、音読する楽しさを味わえるよう工夫されている。</p> <table border="1" data-bbox="1169 929 1481 1086"> <tr> <td data-bbox="1169 929 1326 981">A</td> <td data-bbox="1326 929 1481 981">B</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1169 981 1326 1086">○</td> <td data-bbox="1326 981 1481 1086">○</td> </tr> </table>					A	B	○	○
A	B								
○	○								
種目	国語	書名	No.58 バムとケロのおかいもの	発行者名	文溪堂				
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主人公が友達と一緒に市場へ買い物に出掛ける話で、日常生活の身近なエピソードを盛り込んだ内容となっている。</li> <li>読み聞かせを通して、絵を見ながら考えたり想像したりすることができる内容である。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>絵と簡潔な文章によって、テンポよく話が展開されている。文章は日常よく使われている言葉で表記されており、児童が理解しやすいように配慮されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物が買い物をする場面では、登場人物の表情や動きが表現豊かに描かれていて、児童の興味・関心を喚起するよう配慮されている。</li> <li>買い物をする店の商品などは、細かい部分まで書き込まれていて、繰り返し読んでも楽しめる内容となっている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>はっきりとした色彩で各場面の描写が表現されており、細やかで丁寧である。主人公や他の登場人物の表情がユーモラスに描かれていて、親しみやすい。</li> <li>紙質が良く、装丁もしっかりしている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>買い物に行くという身近な場面設定が、児童の経験と照らし合わせて捉えやすく、買い物の楽しさや失敗したことなどを共感できる内容になっている。絵の表現が鮮明で、絵を見ながら想像したり、話を発展させたりできるよう配慮されている。</p> <table border="1" data-bbox="1169 1854 1481 2011"> <tr> <td data-bbox="1169 1854 1326 1906">A</td> <td data-bbox="1326 1854 1481 1906">B</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1169 1906 1326 2011">◎</td> <td data-bbox="1326 1906 1481 2011">○</td> </tr> </table>					A	B	◎	○
A	B								
◎	○								

種目	国語	書名	No.59 こどものとも絵本 おおきなかぶ	発行者名	福音館書店
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ロシアの代表的な民話の一つで、日本でも有名な話である。教師と一緒に絵を見ながら話したり、読み聞かせを聞いたり、自分で読んだり、動作化したりしながら楽しめる内容である。</li> <li>大きなかぶをみんなで力を合わせて抜くという物語を通して、自分の力だけではできないことでも、仲間の力を借りればできるといことや、仲間と連携するよさを味わえる内容である。</li> </ul>				
価	<p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物が次々に出てくる場面やかぶを引っ張る場面において、繰り返しの表現を用いることにより、物語の展開を理解しやすい内容になっている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>宮城県出身の彫刻家である佐藤忠良氏による大きな絵によって、登場人物の表情や気持ちが分かりやすく描かれている。</li> <li>かぶを引っ張る掛け声の繰り返しを通して、児童も一緒になって大きな声を出したり、動作化したりして楽しむことができる。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>優しい色彩で臨場感あふれる絵が見開きに大きく展開され、かぶを引っ張る時の力強さを感じ取ることができる表現となっている。</li> <li>紙質が良く、装丁もしっかりしている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>日本でも親しみのある民話である。物語の展開が分かりやすく、読み聞かせの他に劇化や動作化などの発展した学習にも楽しみながら取り組ませることができる内容である。</p>				
種目	算数	書名	No.60 ミーミとクークのえほん ミーミとクークのあか・あお・きいろ	発行者名	ひさかたチャイルド
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>数量や図形の学習の基礎となる色の弁別を学習できる内容である。</li> <li>身近な動物や植物、乗り物などを題材として取り上げており、実物と関連させて色について学習することができる。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な12色が取り上げられており、児童が関心を持って学習することができるように配列され、学習するのに適切な分量である。</li> <li>赤・青・黄色の3色については、それぞれ4ページずつ、その他の色については、2色を1ページ程度で記載している。色がイメージできる挿絵が描かれ、色の名称を学習できる内容になっている。</li> </ul>				
価	<p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な動物や植物、乗り物などが描かれ、同じ色の仲間集めの学習にも活用できる。</li> <li>描かれている物に平仮名で名前が表示されており、児童にとって分かりやすい。</li> <li>最後に12色の風船が描かれ、振り返り学習ができるよう工夫されている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>挿絵は大きく親しみを感じる絵で分かりやすい。文字は丸ゴシック体で使用され、大きく見やすくなっている。色の名前の部分に同じ色で点を打ち強調されている。</li> <li>上質の厚紙が使用されており、装丁もしっかりしている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>児童の生活に関わる身近な物がシンプルな描画と彩色で表現されているので、児童が興味・関心を持ち、楽しく学習を進めることができる。</p>				

A	B
◎	○

A	B
	◎



種目	算数	書名	No.6 1 ミーミとクークのえほん ミーミとクークの1・2・3	発行者名	ひさかたチャイルド				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>動物の絵と簡単な文で、1から10までの数概念を楽しく学習できる内容である。</li> <li>一つ一つの絵が大きく、絵を指さして実際に数えながら学習するのに適している。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>数字、数詞、簡単な文と絵が見開きで同じレイアウトでまとめられているため、見やすく、分量も適当である。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>動物の絵は、児童の興味・関心が高まるように動きを入れたり種類を変えたり工夫されている。</li> <li>絵は大きくはっきりしているので、指さして実際に数えながら学習するのに適している。</li> <li>3種類の助数詞を用い、数える対象によって数え方が異なることを理解しやすいように配慮されている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>上質の厚紙が使用されており、装丁もしっかりしている。</li> <li>文字は丸ゴシック体で使用されていて見やすい。</li> <li>絵は、はっきりした色使いでシンプルに描かれており、黒の縁取りもされているので色の弁別がしやすい。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>はっきりした配色と大きな絵により、1から10までの数字と数量、数詞の関係が分かりやすく、児童の知っている動物を取り上げることで児童が楽しく学習できる内容になっている。</p>								
価	<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td></td> <td>◎</td> </tr> </table>					A	B		◎
A	B								
	◎								
種目	算数	書名	No.6 2 あかちゃんとおかあさんの絵本 ハティちゃんの まる・さんかく・しかく	発行者名	金の星社				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童が親しみやすい動物や道具を題材にして、丸、三角、四角の特徴を取り上げており、基本的な図形について学習するのに適した内容である。</li> <li>丸い物や三角の物、四角の物をそれぞれ探すことで、遊びながら身の回りの形に興味・関心を持つことができる内容である。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの図形について、挿絵の数を少しずつ増やして提示している。最後のページでは、三つの図形を組み合わせて提示し、易から難へ無理なく学習できるように配慮されている。</li> <li>挿絵の中から基本的な図形をたくさん探し出せるように工夫されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見開きのページで、一方には言葉遊びを取り入れた文が書かれ、もう一方のページにはそれに対応した挿絵が描かれている。児童の特性や発達段階に応じて発展的な学習にも取り組むことができるように配慮されている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>挿絵は、一つの図形に対して少ない色で彩色され、黒の縁取りもされているので、図形に着目しやすい。</li> <li>上質の厚紙が使用され、装丁もしっかりしている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>シンプルな形と彩色、黒の縁取りにより、挿絵が見やすく、基本的な図形の特徴を理解しやすい。また、身近な物を取り上げたことで、身の回りの形への興味・関心を広げることができる内容である。</p>								
価	<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td></td> <td>◎</td> </tr> </table>					A	B		◎
A	B								
	◎								

種目	算数	書名	No.63 あかちゃんとおかあさんの絵本 ハティちゃんの いち・に・さん	発行者名	金の星社				
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な食べ物や動物などの絵を見ながら、1から10までの数字と数詞、数量を関連付けて楽しく学習できる内容である。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>数字と数量の関係が見開きで簡潔にまとめられている。大きな絵は、指さししながら、数えることができるように示されている。また、5以下の数と5より大きい数の違いを意識させるため、数字と絵の左右を入れ替える工夫が見られる。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>言葉遊びの面白さを生かした短文で数え方が掲載され、絵と関連付けて数字や数詞が覚えられるように工夫されている。</li> <li>見開きの一方のページに数字や数詞、短文を、もう一方のページに絵をというように分けて掲載され、絵と数字、絵と数詞、絵と短文を関連付けて数概念の習得ができる。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>数字や数詞、短文が黒字で簡潔に表されている。</li> <li>絵は、図と地の色のコントラストがはっきりと彩色され、黒の縁取りもされている。</li> <li>上質な厚紙が使用され、装丁もしっかりしている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>1から10までの数概念について、鮮やかな色彩とシンプルな絵、簡潔な文で楽しく学習できるように工夫されている。</p>								
				<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table>	A	B	○	◎	
A	B								
○	◎								
種目	算数	書名	No.64 ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」1 (量概念の基礎、比較、なかま集め)	発行者名	同成社				
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童の身近な生活の中から題材を選び、形や仲間集め等、数量に関わる基礎的な内容が取り上げられていて、量概念の基礎を身に付けやすい内容となっている。</li> <li>挿絵をきっかけにし、実際に見たり、探したり、比べたり、作ったりすることなどを通して、数量について学習できるように配慮されている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行事や遊びの中から、様々な量の概念、比較、仲間集めが理解できるように、段階的、系統的に配列されている。</li> <li>量の概念、比較・弁別等が段階的に配列されており、児童の発達段階に応じて指導ができるよう工夫されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>要点を押さえた簡潔な文で学習内容が提示され、ゲームなどの実際の活動を通して基礎的な量の概念を学ぶことができるように工夫されている。</li> <li>ページ下に「指導の展開」が示され、指導の参考とすることができる。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>分かりやすい挿絵と語句で構成され、字の大きさは適切であり、見やすい。</li> <li>紙質が良く、扱いやすい。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>児童の日常生活における身近な場面や物が題材とされており、数量に関わる基礎的な思考力を身に付けることができる。</p>								
				<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table>	A	B	○	◎	
A	B								
○	◎								

種目	算数	書名	No.65 ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」2 (1対1対応、1~5の数、5までのたし算)	発行者名	同成社				
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1対1対応、1から5までの数、5までのたし算を段階的に学習できる内容である。</li> <li>集合数としての捉え方、数字や数詞の読み書き、記号(+、=)の意味や使い方を、児童が分かりやすい簡単な言葉を使いながら学習できる内容になっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>具体物、半具体物、数詞、数字を対応させながら、基礎的な数概念が段階的に理解できるように配列されている。具体物と併せてタイルなどを用いて操作し、徐々に抽象的思考に移行できるように配慮されている。</li> <li>数概念の発達を促す操作活動の挿絵が適切に配置されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>簡単な言葉や挿絵で課題が効果的に提示され、題意を把握しやすくなっている。</li> <li>児童が書き込める練習問題があり、繰り返し取り組むことで、学習の定着が図れるよう工夫されている。</li> <li>ページ下に「指導の展開」が示され、指導の参考とすることができる。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>字の大きさは適切であり、見やすい。</li> <li>学習課題や学習内容が簡単な言葉で大きく提示され、分かりやすい挿絵が使われているので、内容を把握しやすい。また、濃淡を付けるなど細やかな配慮がされている。</li> <li>挿絵や矢印など、操作や考え方の順序が分かるように表現が工夫されている。</li> <li>紙質が良く、扱いやすい。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>具体的な絵を使って、基礎的な数概念の形成と0から5までの数概念の獲得、たし算ができるように工夫されている。</p>								
					<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td></td> <td>◎</td> </tr> </table>	A	B		◎
A	B								
	◎								
種目	算数	書名	No.66 ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」3 (6~9のたし算、ひき算、位取り)	発行者名	同成社				
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>和が6から9までの数になるたし算、1桁の数のひき算、2桁の数の位取り、時計の読み方などを段階的に学習できる内容である。</li> <li>6から9までの数の構成を「5のまとまり」で意識させるとともに、数を視覚的に捉えながら学習できる内容となっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>具体物や半具体物、数詞、数字の関係を結び付け、視覚的に数の理解が進むよう配慮されている。基礎的な数概念が段階的に理解できるように配列され、徐々に抽象的思考に移行できるように配慮されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童の操作活動の参考になる挿絵が多く、和が6から9までの数になるたし算と1桁のひき算の意味が分かりやすく提示されている。また、二つの数の大小比較、2桁の数の位取りなどについて、身近な物や日常生活場面を言葉と絵で結び付け、分かりやすく提示されており、児童の興味・関心が喚起される工夫がされている。</li> <li>児童が書き込める練習問題があり、学習の定着が図れるよう工夫されている。</li> <li>ページ下に「指導の展開」が示され、指導の参考とすることができる。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文字の大きさと挿絵のバランスが良く、見やすい。</li> <li>絵や矢印などで操作活動や考え方の順序が分かるように表現が工夫されている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>2桁の数と位取り、1桁の数のたし算とひき算が、タイル操作などを通して段階的に学習できるように工夫されている。</p>								
					<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> </table>	A	B	◎	○
A	B								
◎	○								

種目	算数	書名	No.67 ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」4 (くり上がり、くり下がり、2けたの数の計算)	発行者名	同成社				
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な物やタイルを用いて数量を意識できるように構成されており、繰り上がりのあるたし算、繰り下がりのあるひき算を中心に、2桁の数のたし算、ひき算を段階的に学習できる内容である。</li> <li>カレンダーの見方や時計の読み方、数量の単位も扱われ、生活に生かせるように工夫されている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>半具体物、数字の関係を結び付け、繰り上がりや繰り下がりの計算が段階的に習得できるように配列されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>繰り上がりや繰り下がりの計算をイメージできるように、タイル操作を取り入れた練習問題が豊富に用意されている。</li> <li>児童が書き込める練習問題があり、学習の定着が図れるよう工夫されている。</li> <li>ページ下に「指導の展開」が示され、指導の参考とすることができる。</li> <li>単位表記が筆記体になっているため、指導の際に留意が必要である。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文字の大きさ、挿絵などのバランスが良い。</li> <li>絵や矢印などで、操作や考え方の順序が分かるように表現が工夫されている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>タイル操作を繰り返し、「5」や「10」のまとまりを意識しながら繰り上がりや繰り下がり、2桁の数の計算が段階的に学習できるように工夫されている。</p>								
					<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td></td> </tr> </table>	A	B	◎	
A	B								
◎									
種目	算数	書名	No.68 ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」5 (3けたの数の計算、かけ算、わり算)	発行者名	同成社				
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3桁の数のたし算、ひき算、かけ算九九、かけ算、わり算についてタイル操作と関連付けながら、数の概念や計算の仕方について経験的に学習できる内容である。</li> <li>図形やグラフの種類、数量の単位、お金の種類の基礎についても扱われ、生活に生かせるように工夫されている。</li> <li>文章題は簡潔な文で表されていて、題意が捉えやすく、立式しやすくなっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>計算の学習では、易から難へと配列されており、計算の仕方が理解できたら文章問題で考えることができるようになっている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>内容を理解するための挿絵やタイル図が十分にあり、児童の思考の手助けとなるよう配慮されている。</li> <li>かけ算九九の唱え方や、わり算の計算手順が分かりやすく提示されていたり、計算練習が多く取り入れられていたりして、学習の定着を図ることができるよう工夫されている。</li> <li>ページ下に「指導の展開」が示され、指導の参考とすることができる。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文字の大きさと絵のバランスが良い。</li> <li>絵や矢印などで、操作や考え方の順序が分かるように表現が工夫されている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>3桁の数のたし算やひき算、かけ算、わり算、お金の計算、単位の換算などを通して、数に関する学習を総合的に行うことができる。</p>								
					<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td></td> </tr> </table>	A	B	◎	
A	B								
◎									

種目	算数	書名	No.69 あかね書房の学習えほん おかあさんだいすき1. 2. 3	発行者名	あかね書房				
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>動物の親子の触れ合いを見ながら、数概念と数字の読み書きに興味を持って学習できる内容である。</li> <li>初歩的な数概念を習得する段階にある児童が、数えることに関心を持ったり、数字の書き方をなぞり書きで学んだり数字の読み方を唱えたりできる内容である。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1から10までの数を段階的に学習できるように配列されている。さらに、10までの数の適用問題の後に、20までの数についても学習できるようになっている。</li> <li>子供にお母さんが加わるパターンの繰り返しで、1ずつ増えるということが意識しやすくなっている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>数字は大きく表示され、筆順と矢印を見ながら、指でなぞって数字の書き方が学習できるように工夫されている。</li> <li>数字と動物の数を対応させることで、数概念が育つよう工夫されている。</li> <li>物語の要素を取り入れ、同じパターンを繰り返すことで、児童が次を予測して学習を進めることができる。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>装丁はしっかりしており、紙質が良い。絵の配色も鮮やかである。</li> <li>動物の挿絵に動きがあり、視覚的に楽しめるようになっている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>数概念と数字の読み書きについて、読み聞かせを通して楽しく学習できるようになっている。また、なぞり書きや指さしをしながら学習できるように配慮されている。</p>								
			<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td></td> <td>◎</td> </tr> </table>		A	B		◎	
A	B								
	◎								
種目	算数	書名	No.70 とけいのえほん	発行者名	戸田デザイン研究室				
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一日の生活の流れに沿って、時計の読み方を挿絵から学習できる内容である。</li> <li>「午前」「午後」など生活の中での時刻の読み方について、関心が持てる内容である。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>時間の経過を身近な生活や自然界の様子と結び付けながら捉え、時計の見方と読み方、時刻の概念を学ぶことができるように配列されている。</li> <li>時刻によっては、十分なイメージを抱けない挿絵もある。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アナログ時計と文字で書かれた時刻とともに、身近な生活と結び付けた挿絵が見開きで示され、児童の興味・関心が喚起されるように工夫されている。</li> <li>「時」の単位の読み方を中心としているが、最後に「分」の単位にも触れ、時計の発展的な読み方につながるよう構成されている。</li> <li>24時制の表記もあり、児童の実態に合わせて学習できるようになっている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>時計の文字盤の数字が6色で色分けされるなど、時計の読み方が分かりやすく示されている。挿絵は大きく分かりやすく描かれ、見やすい。</li> <li>紙質が良く、装丁もしっかりしている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>生活と結び付けながら、時計の読み方を学習できる内容となっている。</p>								
			<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> </table>		A	B	◎	○	
A	B								
◎	○								

種目	算数	書名	No.7 1 21世紀幼稚園百科⑥ かずあそび 1・2・3	発行者名	小学館				
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1から10までの数概念について、数唱から数の合成・分解まで分かりやすく学習できる内容である。</li> <li>1から10までの数の仕組みについて、児童に身近な具体物の数と数字、数唱を対応したり、数の大小を比較したりできる内容である。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1対1対応から数の比較、5や10の合成や分解、順序数、100までの数について、易しい内容から難しい内容へ系統的に学習できるように構成されている。</li> <li>生活場面との結び付きが意識されており、発展的な学習へつなげることができるように配列されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>具体物を半具体物、数字へと段階的に置き換えることで、具体物と数字の対応が分かりやすく示されており、児童が整理して理解しながら学習することができる。</li> <li>生活場面との結び付きも意識されており、発展的な学習へつなげることができるように配列されている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>具体物をイメージしながら数えられるよう、親しみやすい写真が数多く使われている。</li> <li>厚紙が使用されており装丁もしっかりしている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>児童が身近な具体物をイメージしながら数えられるよう、簡潔な問いに対応した写真が配列され、興味・関心を持って数概念の学習ができるよう工夫されている。</p> <table border="1" style="float: right; margin-top: 10px;"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table>					A	B	○	◎
A	B								
○	◎								
種目	算数	書名	No.7 2 三省堂 こども かずの絵じてん	発行者名	三省堂				
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>数詞、集合、1対1対応、同数、多少の比較、数の分解、0の概念、序数など日常生活に必要な数の学習を広く取り入れた内容になっている。</li> <li>カレンダーや時計の読み方、助数詞、お金についても取り上げ、実生活に生かすことができる内容である。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「1～5」、「6～10」、「1～10」、「2けたのかず」、「とけい」、「カレンダー」、「おかね」の単元で構成され、児童の発達段階に合わせて学習できるように工夫されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見開き2ページでまとまり、簡潔な問いに答えるような内容になっていて、学習する内容に意識を集中させて取り組むことができるようになっている。</li> <li>保護者向けの解説が各ページ右上や巻末に掲載されていて、保護者の協力を得られやすいよう配慮されている。また、指導の参考にもなる。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>挿絵はデザインや色調が明るく親しみやすいため、絵本のように取り扱うこともでき、数に興味を示し始めた児童の関心を高められるよう配慮してある。</li> <li>見出しが単元ごとに色分けしてあり、分かりやすい。</li> <li>紙質が良く、装丁もしっかりしていて扱いやすい。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>数の合成・分解、集合、時計、お金、買い物、カレンダーなど日常生活に必要な事柄を題材にして構成されていて、暮らしと関わらせながら数の学習をすることに適している。</p> <table border="1" style="float: right; margin-top: 10px;"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> </table>					A	B	◎	○
A	B								
◎	○								

種目	算数	書名	No.73 かずのほん3 0から10までのたしざん	発行者名	童心社				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活や遊びなど具体的な場面の絵を題材に、0から10までのたし算とひき算を取り扱った内容となっている。</li> <li>たし算、ひき算の具体的な場面を用いて、たし算、ひき算の意味を理解できるように配慮された内容となっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>絵によるたし算、ひき算の意味理解から、半具体物、数式による計算へと段階的に理解できるように配慮されている。</li> <li>始めに5までのたし算、ひき算を扱い、次に0を含むもの、そして5から10までのたし算、ひき算というように、教材の配列が易しい内容から難しい内容へと配列されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>絵による問題場面の把握がしやすく、タイルと人の絵を用いて具体的な場面での「たす」「ひく」の数の操作と計算の意味が理解できるよう工夫されている。</li> <li>巻末には「解説」が掲載されており、指導の参考とすることができる。</li> <li>見開き2ページに絵とタイル図と数式が示されており、具体的な場面から立式する手順が理解しやすくなっている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>紙質が良く、装丁も丈夫であり、数字や絵が大きく見やすい。</li> </ul>								
価	<p>(総評)</p> <p>10までのたし算とひき算の意味が児童に分かりやすい言葉と絵で説明されており、計算へと導くよう工夫されている。</p> <table border="1" data-bbox="1173 929 1476 1086"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> </table>					A	B	◎	○
A	B								
◎	○								
種目	算数	書名	No.74 せべまさゆきあそぶえほん かぞえてごらん ぜんぶで100	発行者名	偕成社				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>10のまとまりを意識しながら100まで数えるという体験を通して、数に親しむことができる内容である。また、色や動物の種類による仲間分けの学習にも活用できる。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>色分けされた絵や10を区切りやすい絵が見開き2ページに描かれ、10のまとまりを意識して100という数を捉えられるように構成されている。</li> <li>登場した10種類の動物などが、巻末に10ずつ示され、合わせて100となるように構成されており、10のまとまりを意識した発展的な学習や助数詞などの学習の振り返りができるように配慮されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>動物や人など数える対象をそろえて示しており、助数詞についても意識することができるように配慮されている。</li> <li>100は10のまとまりを10集めた数であることを、絵の色や大きさなどを手掛かりに視覚的に捉え、理解しやすいように配慮されている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>動物などが表情豊かに描かれており、児童に親しみやすい表現になっている。</li> <li>土の中や牧場、木の枝、水の中などの絵から、身の回りに数が存在していることに気付かせ、数を身近に感じられるように構成されている。</li> </ul>								
価	<p>(総評)</p> <p>100という数は10のまとまりを10集めた数であることを見開きごとに学べる構成になっている。絵の表情が豊かで、児童が数えてみたくなるものとなっている。主として比較的理解の早い児童に適した内容である。</p> <table border="1" data-bbox="1173 1825 1476 1982"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>					A	B	○	
A	B								
○									

種目	算数	書名	No.75 せばまさゆきあそぶえほん さがしてごらん 100にんかくれんぼ	発行者名	偕成社				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数を数えるだけでなく、絵の中の人物を順序よく探したり、違いを認識して弁別したりできる内容である。</li> <li>・ 100という数概念を、10ずつのまとまりとして囲んだり、分けたりしながら捉えることができるように構成されている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見開きごとに100人の人物を示すことで、100という数を視覚的に示し、数概念が捉えやすい構成になっている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 吹き出し内の質問に応じてページ内の人や物を探したり、数えたりすることで、発展的な学習ができるように配慮されている。</li> <li>・ 見開き2ページに載っている100人分の絵から、対象となる10人をそれぞれ探すことにより、記憶を保持したり、変化を発見したりしながら弁別できるように工夫されている。</li> </ul>								
価	<p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人物の表情や背景が明るく、色彩も鮮やかで児童にとって親しみやすい表現になっている。</li> <li>・ 表紙が厚く、紙質も良く扱いやすい。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>「探す」という活動を通して100という数や10ずつの数のまとまりに親しみ、数えたり探したりなどの様々な学習が発展的に行える内容である。</p> <table border="1" style="float: right;"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </tbody> </table>					A	B	○	○
A	B								
○	○								
種目	算数	書名	No.76 指さし・指なぞり 123かず	発行者名	ひかりのくに				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童が親しみやすい動物を題材にして、会話と指さしを活動に取り入れ、1対1対応を繰り返し学習できる内容になっている。</li> <li>・ 指でなぞりながら数字の表し方を学ぶことができ、繰り返し学習できるように構成されている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1から3の数を7種類の動物で数えた後、5までの数を取り上げて位置が変わっても数量は変わらないことに気付くことができるようになっている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1から3を数える経験を多く積めるように構成されており、数唱、数量、数字の関係について理解を促すことができるようになっている。</li> </ul>								
価	<p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 紙質が良く、装丁も丈夫であり、数字や絵が大きく見やすい。</li> <li>・ 見開きの右ページに立体数字を、左ページに動物の写真を配置している。</li> <li>・ 動物の写真は、同じ動物であっても大きさや姿勢、重なり具合などに変化が加えられている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>児童と会話をしながら動物の写真を指さしで数え、10までの数の基礎を身に付けられる内容になっている。また、指さしから言葉の発達を促すなど、発展的な学習も期待できる。</p> <table border="1" style="float: right;"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">◎</td> </tr> </tbody> </table>					A	B		◎
A	B								
	◎								



種目	算数	書名	No.77 スキンシップ絵本 かずのえほん	発行者名	ひさかたチャイルド				
評			<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>絵を基に100までの数の1対1対応から、大小、高低、長短などの物の比較、仲間集めなどを通して考える力を養う内容になっている。</li> <li>数の読み方と合わせて、代表的な物の数え方を学ぶことができる。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前半は物を数えるページになっており、1から20まで数えた後は、30、40、50、100と続き、最後に0を学べる配列になっている。</li> <li>後半は考えるページになっており、大小、高低、長短、前から何番目、どっちが多い、一番多いなどの質問に答え、比較したり弁別したりする学習活動を段階的に経験し、数の概念を育てられるようになっている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>動物や果物、菓子などの様々な絵が用いられ、児童の関心に合わせて学習を進められるようになっている。</li> <li>見開きのページに数字と数詞、物の数え方、それに対応した絵が描かれており、それぞれを関連付けて基本的な学習ができる構成になっている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>10ずつ色分けされ、丸みを帯びた文字と絵で親しみやすい表現になっている。</li> </ul>						
価			<p>(総評)</p> <p>数詞と数字、動物の絵で構成され、100までの数について児童とやりとりをしながら理解を深められるようになっている。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table>	A	B	○	◎	
A	B								
○	◎								
種目	算数	書名	No.78 さんすうサウルス	発行者名	福音館書店				
評			<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一つの物語中に起きた課題を、多様な数学的活動と結びつけながら解決していく内容である。</li> <li>算数を生活に活用していく物語から、算数の学習に興味・関心を持ちながら、算数の基礎的な概念に触れることができる内容となっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>数の数え方、四則計算、図形、長さ、グラフなどと広範囲にわたる算数の概念に、段階的に触れることができるように構成されている。</li> <li>それぞれの計算の意味理解が図られるように物語が展開されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童の興味・関心が高い恐竜を主人公にし、日常の事象で算数を活用することの楽しさを実感できるようになっている。</li> <li>鳴き声や擬態語などが多数盛り込まれ、読み聞かせを通して、数学的活動の楽しさや、数学的な問題解決の良さに触れられるようになっている。</li> </ul>						
価			<p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図と背景の色の違いがはっきりとしており、見やすい。</li> <li>文字は小さめで分量が多いが、はっきりとしている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>恐竜が主人公の物語を通して、日常の事象を数量や図形に注目して数学的活動の楽しさに気付くことができる内容となっている。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>	A	B	○		
A	B								
○									

種目	算数	書名	No.79 音のどるとけいえほん いまなんじ?	発行者名	金の星社				
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>操作をすることで音が出るため、興味・関心を持って学習できる内容になっている。</li> <li>視覚的な情報に加え、具体物の操作や聴覚的情報と多様な情報を合わせて、時計の概念を捉えることができる内容になっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指先の簡単な操作を通し、時計の見方と読み方、時刻の概念を学ぶことができる。</li> <li>3つのボタンごとに学習モードが設定されており、児童の理解に合わせて段階的に時計の読み方の習熟が図れる。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>操作の結果を、正解・不正解が分かる音声や、時刻の読み上げ音声で確認することができ、児童は主体的に反復学習ができるようになっている。</li> <li>時計の絵とともに、身近な生活と結び付けた絵が示され、時刻と日常生活を結び付けて考えることができるように工夫されている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>時計の文字盤が12色で色分けされ、時計の読み方が分かりやすく示されている。</li> <li>時計の針が太く頑丈で、操作がしやすく、反復学習にも耐えうる強度である。</li> <li>はっきりとした色彩で親しみが持てる絵で表現されている。</li> <li>1ページの文字数が多く、時計の学習をする段階の児童には情報量が多い。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>手で長針を操作することを通して、生活と結び付けながら、時計の読み方を学習できる内容となっている。知育玩具としての要素が強く、比較的理解に時間が掛かる児童も興味・関心を持って学習することができるようになっている。</p> <table border="1" style="float: right; margin-top: 10px;"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td></td> <td>◎</td> </tr> </table>					A	B		◎
A	B								
	◎								
種目	図工	書名	No.80 5回おったら絵をかこう！ おえかきおりがみ	発行者名	朝日新聞出版				
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>折り紙を5回以内の折りで完成することのできる52種類の作品が掲載されている。</li> <li>児童の興味や関心を引きやすい身近な題材が扱われており、1枚の折り紙から変化する作品の面白さを味わえる内容になっている。</li> <li>出来上がった作品に絵を描いたりアレンジしたりする例が掲載されており、繰り返し作品を作ったり楽しんだりできる内容になっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>山折り線や谷折り線がそれぞれ違う点線で表示されていたり、見本の折り紙が片面ごとに色分けされていたりと視覚的に分かりやすく表現されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>折り紙で折った作品に貼ったり剥がしたりできる「おもしろかおシール」の付録と巻末に絵の描き方紹介があり、豊かに表現できる工夫がされている。</li> <li>作品ごとに関連するクイズや作品に関連したコラムが掲載されており、作る楽しさに加えて、知識の拡大と興味・関心を高めやすい構成となっている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作品ごとに見開きの左ページに折り方の手順、右ページに完成イメージの絵や写真、下部に作品例という構成になっているので見やすさがある。</li> <li>色彩が鮮やかであり、項目ごとにページの右側が色分けされているので分かりやすくなっている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>1枚の折り紙を5回折るだけで完成する作品が掲載されており、折り紙の楽しさを味わえる内容になっている。また、作品にシールを貼ったり、絵を描いたりすることで表現の幅を広げられる内容となっている。</p> <table border="1" style="float: right; margin-top: 10px;"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> </table>					A	B	◎	○
A	B								
◎	○								

種目	図工	書名	No.8 1 かがくのとも絵本 しんぶんしでつくろう	発行者名	福音館書店				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な素材である新聞紙を使って、丸める、折る、破るなどの活動から、新聞紙を素材とした集団遊びまで様々な活動が紹介されている。</li> <li>自分たちで準備する、制作する、遊ぶ、片付けるなどの体験的な活動の中で、友達と十分に関わりながら造形遊びを楽しむことができる内容である。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ちぎる、丸める、切るなどの簡単な技法から、接合する、組み立てるなどの技法まで幅広く取り入れることで、より動きのある活動が展開できるように構成されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作品で遊んでいる子どもの表情が豊かで、絵それぞれに物語性があり、児童の造形遊びへの興味・関心を喚起できるように工夫されている。</li> <li>児童の実態に合わせて、どの遊びからでも行うことができ、更に応用した遊びも考えられる。一人でも多人数でも活用できる。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習の見通しが立てやすく、見開きを見ただけで、どんな活動をするのか、何を作るのか、分かりやすい構成である。</li> <li>見やすい紙面構成で、色彩も落ち着いている。</li> </ul>								
価	<p>(総評)</p> <p>新聞紙という身近な材料でも簡単な技法で十分に造形遊びの楽しさを味わえるように工夫されている。表情豊かな児童の様子が生き生きと描かれていて、活動の楽しさが伝わる本である。</p> <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table>					A	B	○	◎
A	B								
○	◎								
種目	図工	書名	No.8 2 かがくのとも絵本 かみコップでつくろう	発行者名	福音館書店				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>紙コップを様々な直線や曲線で切ることにより、動きのある多様な作品の作り方を紹介している。出来上がった作品を使って、友達と関わりながら様々な遊びを楽しむことができるよう工夫された内容になっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>切るだけの作品から、貼り付けたり組み立てたりする作品へと、制作方法が易から難へと構成されており、児童の発達段階に応じて活用できるよう配慮されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作り方や遊び方が絵と説明文で分かりやすく示されており、作品で遊んでいる子どもの表情が豊かで児童の興味・関心や制作意欲を喚起するよう工夫されている。</li> <li>造形活動に親しみながら、はさみやセロハンテープなど道具の使い方が学習できるように配慮されている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作り方の手順や遊び方が見開きの絵で示された見やすい紙面構成で、色彩が美しく、装丁もしっかりとしている。</li> </ul>								
価	<p>(総評)</p> <p>紙コップ、はさみ、カッターなどを使って作る楽しさを十分に味わい、出来上がった作品で楽しく遊ぶことができるよう工夫されている。</p> <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table>					A	B	○	◎
A	B								
○	◎								

種目	図工	書名	No.83 あそびのひろば1 はんがあそび	発行者名	ポプラ社				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な素材を使った初歩的な造形活動を通して、版画への興味・関心を引き出すことができる内容である。</li> <li>特別な道具ではなく、手や野菜、葉っぱなどを使った簡単なスタンプ遊びから、きりやカッターを用いるステンシルまで、造形活動の方法が易から難へと配慮され、様々な技法を用いながら版画に親しむことができる構成となっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>手形や野菜のはんこ、こすりだしや葉っぱの版画など、刃物を扱うことが難しい児童でも取り組める内容となっている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>制作の手順が親しみやすい絵と説明文で分かりやすく提示されている。</li> <li>身近な物の活用の仕方に加え、技法に応じた用具の扱い方にも慣れることができるよう工夫されている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>落ち着いた色調で作品例が紹介され、表紙が厚く装丁もしっかりしている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>身近な素材と簡単な技法で、版画遊びの楽しさを十分に味わうことができるように工夫されている。プレゼントの包み紙やTシャツ、年賀状など、季節の行事や生活の中での活用例が示されていて、生活を豊かにできるよう配慮されている。</p>								
価					<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> </table>	A	B	◎	◎
A	B								
◎	◎								
種目	図工	書名	No.84 あそびの絵本 ねんどあそび	発行者名	岩崎書店				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>何度でも作り直せる粘土の特性を生かし、指先を使って十分に素材と関わりながら造形活動に取り組むことができる内容である。</li> <li>鉛筆立てやカップなど身近な物が題材として取り上げられており、完成後は生活に生かしたり、作品を使って遊んだりできるよう配慮されている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>粘土の基本的な扱い方から、板作り、ひも作りなどの技法まで幅広く取り上げられており、児童の実態に応じて段階的に取り組むことができるよう構成されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童の発達段階に応じて、様々な技法の中から選択して活動ができるよう配慮されている。</li> <li>見開き2ページごとに、完成作品と作り方が絵で分かりやすく示されており、絵を参考にしながら制作できるよう工夫されている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>絵が簡潔で分かりやすく落ち着いた色調で描かれ、装丁もしっかりしている。</li> <li>説明は全て平仮名で書かれているが、文字が小さめで細く、やや読みにくさがある。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>素材の特徴を生かした造形活動を通して、粘土遊びの楽しさを十分に味わうことができる内容となっている。ある程度文章を読む力が求められることと併せ、手指の巧緻性を求められる技法もあり、主として理解の早い児童に適している内容である。</p>								
価					<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>	A	B	○	
A	B								
○									

種目	図工	書名	No.85 あそびの絵本 えのぐあそび	発行者名	岩崎書店				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な画材である絵の具に親しむことで、造形表現についての興味・関心を持つことができる内容である。</li> <li>絵の具の特性を生かした様々な技法（混色、にじみ、型押し、吹き絵、スパッタリング、デカルコマニーなど）が取り入れられ、それらを楽しみながら造形遊びに親しむことができる内容となっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指で絵の具に触ることから始め、様々な道具や手法を用いての制作活動まで、基礎的な技法に段階的に取り組める構成となっている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの制作活動を通して、次の制作や遊びへと発展できるように配慮されている。</li> <li>見開きの中に完成作品と準備物、作り方が絵で分かりやすく示されており、文章の読み取りが難しい児童でも、視覚的に理解しやすいように工夫されている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作品例の色彩が美しく、装丁もしっかりしている。</li> <li>作品ごとにユニークな見出しが付けられており、児童の制作意欲を喚起するよう工夫されている。</li> </ul>								
価	<p>(総評)</p> <p>絵の具を用いた簡単な技法を通して、造形遊びの楽しさを味わえるよう工夫されており、知的好奇心や想像力を養うことができる内容構成になっている。</p> <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table>					A	B	○	◎
A	B								
○	◎								
種目	図工	書名	No.86 あそびのおうさまずかん リサイクルこうさく増補改訂	発行者名	学研				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ペットボトルや牛乳パック、空き箱など家庭にある廃材を使い、切る、貼る、塗るなどの簡単な技法で、工作の楽しさを味わえる内容である。</li> <li>出来上がった作品を暮らしに生かしたり、遊んだりすることでリサイクルを促し、環境や社会とのつながりを意識させることができる内容となっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>廃材を活用するための準備の仕方、道具の種類と安全な使い方などをしっかりと学習できる構成になっている。</li> <li>簡単に作れるおもちゃから、生活に役立つものまで多様な作品が掲載されており、児童の興味・関心や発達段階に応じて取り組むことができるよう配慮されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>工作に使用する素材や活用例が多数紹介されており、多様な素材を用いた工作への意欲が喚起されるよう工夫されている。</li> <li>作品例が豊富な写真で紹介されており、視覚的に児童の興味・関心を引き出すことができるよう配慮されている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>写真による作品例が多く、児童が制作するときにイメージしやすい。</li> <li>全て平仮名と片仮名で書かれているが、文字が小さめで1ページ内の情報量が多く、やや読みにくさがある。</li> </ul>								
価	<p>(総評)</p> <p>リサイクル意識を高めながら、身近な材料で楽しく作ったり遊んだりすることができるよう工夫されている。比較的理解の早い児童の使用に適しているが、比較的理解に時間がかかる児童にも一部使用できる。</p> <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> </table>					A	B	◎	○
A	B								
◎	○								

種目	図工	書名	No.87 たのしい工作教室 たのしいこうさくきょうしつ1	発行者名	さ・え・ら書房				
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身近にある様々な材料や用具を用い、切る・貼るなど比較的簡単な技法で多様な作品を作ることができる内容となっている。</li> <li>作った作品で遊ぶことで、工作の楽しさを味わえるよう工夫されている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な技法で作ることができる題材が取り上げられており、児童の興味・関心に応じて、様々な作品を作って遊ぶことができるよう配慮された構成になっている。</li> <li>紹介されている材料や道具の中には、現代では形状が変化し、例として適切でないものもある。また、道具や技法が限定されており、児童の創作活動の幅が広がりにくい。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作品例や作品を使った遊びの絵が掲載されており、児童の制作意欲を引き出すことができるよう工夫されている。</li> <li>簡潔な文と親しみやすい絵で制作手順が分かりやすく示され、完成作品も写真で提示されており、児童が見通しをもって活動できるように工夫されている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表紙が厚く、紙質も良く、装丁もしっかりしている。</li> <li>表情豊かな絵により、楽しく見やすい紙面構成ではあるが、時代背景が現代と異なり、児童にとっては実際の生活とはかけ離れた例が目立つ。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>身近な材料を使い、簡単な技法で作品を作ったり、作品を使って遊んだりする楽しさを感じることができるよう工夫されている。しかし、初版から数十年経つため、素材・道具・活用例など、現代の児童が親しみを持ちにくく、創作活動の幅も広がりにくい。</p> <table border="1" data-bbox="1173 940 1476 1097"> <tr> <td data-bbox="1173 940 1324 996">A</td> <td data-bbox="1324 940 1476 996">B</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1173 996 1324 1097">○</td> <td data-bbox="1324 996 1476 1097"></td> </tr> </table>					A	B	○	
A	B								
○									
種目	道徳	書名	No.88 おやくそくえほん はじめての「よのなかルールブック」	発行者名	日本図書センター				
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>42の身に付けていきたい習慣を「おやくそく」として取り上げ、児童の日常に即したエピソードと絵で紹介し、興味・関心を持って学ぶことができる内容になっている。</li> <li>具体的行動と、その行動をとる理由について簡潔に説明されており、ルールを守る必要性を理解し、気持ちや行動を自律的に調整しようとする心情を育むことができる内容になっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>42の「おやくそく」について、1つの内容が1ページに配列され、分かりやすい内容になっている。</li> <li>見開きページごとに関連するルールが配列され、関連性を持たせながら理解できるよう配列されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「おやくそく」について、児童の日常に即したエピソードと絵で紹介され、児童にとって分かりやすい内容になっている。</li> <li>巻末の「おやくそくリスト」は、行動の実践化や振り返りを促す内容になっている。</li> <li>大人はどのように言葉掛けをすべきか、どのようにしつけるべきかを取り上げており、指導に役立つ内容になっている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表紙が厚く、装丁もしっかりしている。</li> <li>落ち着いた色彩でユーモアのある絵が描かれ、児童が親しみやすい。</li> <li>文字が読みやすい大きさで、全て平仮名と片仮名で書かれてある。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>社会生活上必要なルールについて、児童の日常に即したエピソードと絵で具体的に説明されている。興味・関心を持ってルールを守る必要性を学び、気持ちや行動を自律的に調整しようとする心情を育むことができる内容になっている。</p> <table border="1" data-bbox="1173 1691 1476 1848"> <tr> <td data-bbox="1173 1691 1324 1747">A</td> <td data-bbox="1324 1691 1476 1747">B</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1173 1747 1324 1848">◎</td> <td data-bbox="1324 1747 1476 1848">○</td> </tr> </table>					A	B	◎	○
A	B								
◎	○								

# 大河原地区教科用図書採択地区協議会

## 専門員会調査概要報告

令和7年度使用

学校教育法附則第9条の規定による教科用図書（一般図書）

中学校

## [中学校・特別支援部会]

中学校特別支援学級部会では、学校教育法附則第9条の規定による教科用図書（一般図書）48冊（実数冊）について調査・研究いたしました。

特別支援学級に在籍する生徒は、一人一人特性が異なり、それに伴った教育的ニーズも多様です。そのため生徒それぞれに応じた学び方があり、指導や支援方法も多岐にわたります。

「宮城県学校教育の方針と重点」の教育施策の基本方向のひとつに「多様なニーズに対応し誰一人取り残さない教育の推進」とあり、障害のある子どもたちの自立と社会参加を目指し一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育を展開することが求められています。

これらを達成する上で採用する教科用図書は、生徒の実態に即し、将来の生活に役立つ基礎的・基本的な知識を学ぶことができ自立と社会参加に向けた指導や支援に広がりをもてる図書であることが大切であると考え、調査・研究を進めました。

「里山の生き物図鑑」や、「うごく図鑑MOVE 地球のふしぎ」は写真や図表が豊富であり、二次元コードや、付属のDVDで動画もみることができ、生徒が具体的にイメージを膨らませることができるものでした。

数学科の「さわって学べる 算数図鑑」は図形や立方体、数を足す、引く、掛ける、分けること等について本の中のしかけを動かしたり、図形を組み立てたりして学習できるよう工夫されていました。英語科の「親子でうたう 英語うたの絵じてん」は大きな絵と文字で視覚的に分かりやすく示されていたり、付属のCDで自然に英語の発音に慣れ親しんだりできるように工夫されていました。

職業・家庭科の「リサイクル工作ずかん」は身の回りの材料で簡単に作れるものを掲載しており、取り組みやすく楽しみながら製作することができるよう工夫されていました。

「まんがと写真でわかる家庭菜園」は野菜の育て方だけでなく道具の準備から苗の選び方、堆肥の準備、害虫や植物の病気などの対策に関してなど写真や漫画でわかりやすく解説していました。

国語科の「ひとりだちするための国語」では実際の生活の場面を題材とし「聞くこと」「話すこと」などの学習に実生活を想定しながら取り組むことができるよう工夫されていました。社会科、職業・家庭科の「ひとりだちするためのトラブル対策」では、対人関係や金銭管理、スマートフォンの使用などのトラブル事例や対処法についてイラストなどを使って具体的に分かりやすく伝えたり、自分の考えをまとめる欄があったりと、生徒の実態に応じて学びが進められるように工夫されていました。

これらのように、今回調査した図書は図や写真、様々な仕掛けや二次元コード、DVDなども使って理解を促したり、生徒の興味・関心を喚起したりするもの、体験活動を促すもの、身近な題材を採り上げ実生活に活用できるものなどであり、将来の生活に役立つ基礎的・基本的な知識を学ぶことができ自立と社会参加に向けた指導や支援に広がりをもてる図書でした。

以上の点から、全48冊のいずれも教科用図書として適切であると判断したことを報告いたします。



種目	国語	書名	No.1 声に出すことばえほん おくのほそ道 (2008)	発行者名	ほるぷ出版				
評	<p>(1) 内容に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>宮城県を含む東北地方にゆかりのある松尾芭蕉の「奥の細道」を扱っており、生徒に知っておいてほしい内容となっている。</li> <li>声に出して読むことで、文語調の言葉の響きや五七五のリズムに親しむことができる内容になっている。</li> </ul> <p>(2) 組織と配列に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>代表的な俳句で構成され、無理なく学習を進めることができる分量である。</li> <li>松尾芭蕉が実際に歩いた順番に俳句が配列され、表紙裏の地図とリンクしており全体像がイメージしやすい。</li> </ul> <p>(3) 学習と指導に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>俳句を声に出して読むことで、俳句の世界を感じ取り、言葉の響きやリズムを楽しむことができる内容である。</li> <li>実際に芭蕉が俳句を詠んだ史跡を訪れてみるなどの校外学習にも活用できる。</li> </ul> <p>(4) 表現と体裁等に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>風景の絵が鮮やかな色彩でシンプルかつ大胆なタッチで描かれており、俳句の内容を感じ取りやすい。また、装丁もしっかりしており扱いやすい。</li> <li>漢字にルビが振ってあり、読みやすい配慮がされている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>身近な題材に関する文を読んだり、その風景をイメージしたイラストを見たりすることで、内容を理解したり考えたりできるように構成されている。</p>								
価					<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> </table>	A	B	◎	○
A	B								
◎	○								
種目	国語	書名	No.2 改訂新版 くらしに役立つ国語 (2008)	発行者名	東洋館出版社				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自己紹介や目上の人への敬語などくらしに役立つ国語を学ぶ内容であり、実際の生活の場面で活用できるものである。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>適切な話し方や電話の掛け方など15のテーマ別に構成されており、生徒の生活に合わせて、どのテーマからでも学習できる構成になっている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各テーマの冒頭に何のために学ぶのか、学んだことをどのように使うのかを具体的に示している。</li> <li>各テーマの最後に、実際の場面で想定される会話の内容を具体的に示し練習を促すなど、内容の定着が進むよう配慮されている。</li> <li>1つのテーマが6ページから8ページの構成となっており、適切な分量である。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>手になじむ紙を使用しており装丁もしっかりしている。</li> <li>活字は大きめで、難しい漢字にはルビが振ってあり見やすい。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>生徒にとって身近な内容が採り上げられており、学習した内容が実生活の中で活用できるよう工夫がされている。</p>								
価					<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>	A	B	○	
A	B								
○									

種目	国語	書名	No.3 これでカンペキ! マンガで覚える敬語 (2014)	発行者名	岩崎書店
評    価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校や家庭などで敬語を使う場面が細かく設定されているため、生徒が日常生活と照らし合わせて敬語の使い方を学ぶことができる内容となっている。</li> <li>敬語ではない言い方と敬語を使った言い方が見開きで対比されており、敬語の学習をわかりやすく進めることができる内容となっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>7つの具体的な生活場面が設定され、その中で100の敬語を学ぶことができるように配列されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>親しみやすい漫画が添えられており、生徒が興味・関心に応じて学習できるように配慮されている。</li> <li>見開きごとに敬語の解説があり、生徒の実態に合わせて発展的に学習することができるようになっている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>すべてのページに漫画が添えられており、親しみやすい。</li> <li>上質な紙をしようしており、手に取りやすいサイズである。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>日常生活の場面に応じた敬語が漫画とともに紹介されており、生徒が興味を持って学びやすい内容となっている。実際の生活場面でどのように敬語を使えばいいのか具体的に分かるようになっている。</p>				
			A		B
		○			
種目	国語	書名	No.4 ひとりだちするための国語 (2012/2023)	発行者名	日本教育研究出版
評    価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実際の生活での場面を題材とし、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の学習に楽しく取り組むことができる内容となっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第一部は、自己紹介の仕方や作文の書き方、辞書の使い方などを学ぶことで言葉の基礎的な学習ができる内容である。</li> <li>第二部は、読書発表会や調べ学習の発表会、自分新聞の作成などについて学び、表現力を高めることができる内容である。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電話のマナーや履歴書の書き方などを学ぶ内容もあり、生活単元学習や作業学習でも活用することができる。</li> <li>直接書き込めるワークシートや解答欄が掲載されており、取り組みやすくなっている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イラストが多く掲載されており、興味を持って学習に取り組めるよう配慮されている。</li> <li>重要な個所は赤字や太字で書かれており、見やすくなっている。</li> <li>漢字にルビが振ってあり、漢字が不得意な生徒への配慮がなされている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>生徒にとって身近なものを題材として扱っているため、興味・関心を持って学習に取り組める内容となっている。学んだことを活かして自己表現する内容も多く、生活に必要な国語力を高めることができる。</p>				
			A		B
		◎			

種目	社会	書名	No.5 子どものマナー図鑑3 でかけるときのマナー (2000)	発行者名	偕成社
評					
価					
種目	社会・ 道徳	書名	No.6 子どものマナー図鑑(4) おつきあいのマナー (2000)	発行者名	偕成社
評					
価					

- (1)
- 生徒が外出したり施設を利用したりする際に必要なルールやマナーが豊富に掲載されている。分かりやすい言葉で書かれた説明文と挿絵を見ながら、ルールやマナーについて幅広く学習できる内容である。
- (2)
- 「自動車に乗る」などの生徒にとって身近な日常生活から、「コンサートに行く」など非日常的なことまで、事前に知っておくことで安心して社会参加するためのマナーやルールについても触れていて、生徒の行動の広がりにも対応した配列になっている。
  - 想定されるテーマごとに見開きでまとめられていて、分量と区分も適切である。
- (3)
- 挿絵は親しみやすいタッチで描かれていて、どの生徒も興味・関心を持って学習できる内容である。良いマナーと悪いマナーの双方について扱われており、自分の行動の善悪について振り返ることができ、その後の生活に生かすことができるようになっている。
- (4)
- 活字は少し小さめであるが、漢字にはすべてルビが振られているので、漢字が読めない生徒でも挿絵と説明文で内容を理解することができる。色彩は落ち着いた色合いで、装丁もしつかりしている。

(総評)  
外出するときに必要なマナーやルールが豊富に扱われている。分かりやすい挿絵と説明文で簡潔に解説されているため、比較的理解に時間がかかる生徒にも提示の仕方次第で使用できる。公共の交通機関や施設などの利用のマナーに関する学習に適していて、体験学習や余暇の過ごし方の指導などに効果的である。

A	B
◎	○

- (1)
- 普段の生活の中で関わる人々や、暮らしている場所でのより良い付き合い方について、豊富な挿絵と説明文でわかりやすく示されている。まわりの人たちとどのように付き合い合えば良いかが理解しやすく、自立や社会参加に向けた学習ができる内容になっている。
- (2)
- 家庭のマナーから学校、地域社会のマナーへと発展的に学習できるように配列されている。
  - 1つのテーマが見開きで配列されていて、区分や分量も適切で分かりやすい。
- (3)
- 見やすい挿絵と説明文によって実際の場面が想起しやすい。事例が豊富にあるため指導したい内容を選択して取り扱うことができる。
  - 「いじめ」や「さべつ」について考えるページもあり、人権に関する学習へも展開できる内容となっている。
- (4)
- 漢字にはすべてルビが振られているので、漢字が読めない生徒でも挿絵と説明文で内容を理解することができる。色彩は落ち着いた色合いで、装丁もしつかりしている。

(総評)  
日常生活における具体的な場面を設定し、豊富な挿絵と説明文を見ながら分かりやすく学習できる。学びながらソーシャルスキルを身に付けることもでき、生徒が日常生活におけるコミュニケーション力の向上を図り、自立や社会参加に向けた学習ができるように配慮されている。

A	B
◎	○

種目	社会	書名	No.7 地震防災えほん じしんのえほん こんなときどうするの? (2006)	発行者名	ポプラ社				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>様々な場面で、地震が起きたときにどのような危険があるか、安全な行動をとるためにはどうすればよいのかを学習できる内容である。</li> <li>保護者向けのアドバイスもあり、家族で防災の意識が高められる内容である。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「下校中」や「留守番中」など、日常生活で考えられる場面ごとに地震の様子が提示されていてイメージしやすい。生徒が対応を学ぶ上で、区分も適切である。</li> <li>ページ数は、特に理解に時間がかかる生徒にとって負担なく学べる分量である。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>場面ごとに地震の際の危険ポイントとどのように身を守ればよいかが、挿絵や説明文で簡潔にまとめられている。</li> <li>それぞれの場面で「こんな時どうする?」という問いかけがあるために、生徒が興味・関心を持ちやすく、学級での学び合いにも適している。挿絵もイメージしやすいものとなっている。</li> <li>巻末には、携帯できるサブバルカードが付いており、実生活で活用できるようになっている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>説明文は平仮名で書かれていて、漢字が読めない生徒でも内容が理解できる。</li> <li>挿絵は柔らかな色彩で親しみやすい。厚手の表紙を使用し、装丁もしっかりしている。</li> </ul>								
価	<p>(総評)</p> <p>地震が起きたときにどのように対応すればよいかが身近な生活の場面ごとに示されていて、生徒たちが理解しやすい配慮がされている。ただし、生徒の被災体験による心の状態に考慮して使用する必要がある。</p> <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> </table>					A	B	◎	○
A	B								
◎	○								
種目	社会	書名	No.8 マナーやルールがどんどんわかる! 新装改訂版 みちかなマーク (2014/2019)	発行者名	ひかりのくに				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>普段の生活の中でよく目にするマークや標識を扱っている。指示や注意、禁止などの意味を学習することで、生徒の社会生活の利便性が高まる内容となっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>テーマや生活の場面ごとに見開きでマークが掲示されていて、区分が分かりやすい配列となっている。</li> <li>身近なマークからより専門的なものへと配列が工夫されている。</li> <li>国旗や地域のマスコットキャラクターまで掲載するなど、幅広く学習できる内容となっている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>キャラクターの案内に従って学習する構成になっており、生徒の興味を喚起しやすい。</li> <li>解説が会話表現になっているため、楽しみながら学習を進めていくことができる。</li> <li>P.41の「ふくについているマーク」は2016年以降、ISO規格の洗濯マークになったことの補足指導をすることで学びが深まる。</li> <li>国旗や都道府県、防災に関するマークなど様々な分野のマークを扱っていて、生徒が興味・関心を高めながら幅広く学習できる内容となっている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>取り扱いやすいサイズで、表紙も厚く、装丁もしっかりしている。</li> <li>実際のマークや標識と同じ色彩で描かれており、実生活でも学習したことを生せるように工夫されている。</li> </ul>								
価	<p>(総評)</p> <p>生徒が日常生活の中でルールを守ったり、様々な情報を得たりすることができるような内容になっている。親しみやすいキャラクターを使用しているため、理解に時間がかかる生徒も、興味を持って取り組める。</p> <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> </table>					A	B	◎	○
A	B								
◎	○								

種目	社会	書名	No.9 いちばんわかりやすい 小学生のための学習世界地図帳 (2023)	発行者名	成美堂出版				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界の自然や地形、産業、文化などについてまとめられていて、生徒が世界各国の様子や人々の暮らしについて興味・関心を持って学習に取り組める内容である。</li> <li>現在の世界情勢や環境問題など幅広い内容を採り上げており、発展的な学習が期待できる。</li> </ul>								
価	<p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各国の歴史や産業、観光名所などがコンパクトにまとめられている。</li> <li>最新の衛星写真と地図の両方が配列され、世界の地形と各州や各国の地形を比較しながら特徴をつかむことができるように配慮されている。</li> </ul>								
	<p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界遺産やその地域で生息する動物などについて挿絵や写真付きで説明がまとめられており、生徒の興味・関心を喚起する工夫がなされている。</li> <li>世界全図、世界の国旗、世界の国かるたが付録としてあり、生徒が楽しみながら学習できるよう工夫されている。</li> <li>「地名さくいん」の使い方や、世界の産業などについてのグラフデータが記載されており、地名検索やグラフの読み取りなどの学習に活用できる。</li> </ul>								
評	<p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>活字は小さめであるが、見やすい字体が使用され、漢字にはルビが振られていて読みやすい。写真や挿絵なども多く、見やすく配置されている。</li> <li>もくじで示されている地域の色と、その地域の説明ページの小口が同じ配色で、学習ページが探しやすい。</li> </ul>								
	<p>(総評)</p> <p>地域ごとに多くの国々についてまとめられていて、生徒の多様な興味・関心に応じて学習を進めることができる。</p>				<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>		A	B	○
A	B								
○									
種目	社会	書名	No.10 いちばんわかりやすい 小学生のための学習日本地図帳 (2023)	発行者名	成美堂出版				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の各都道府県のデータや地図などが、地方区分ごとに分かりやすくまとめられていて、地域の様子や文化などについて幅広く学習できる内容である。</li> </ul>								
価	<p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地方区分ごとに都道府県の歴史や産業、観光名所などがまとめられていて、様々な地域について、生徒が興味・関心を持って学習することができる配列になっている。</li> <li>衛星写真と地図の両方が配列されていて、地形や河川など日本全体の地形について見比べながら学習ができるように配慮されている。</li> <li>各地域の「伝統」「工業」「農業」「水産業」についてアイコンとともに配列されており、必要な情報を探しやすい。</li> </ul>								
	<p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>写真や挿絵が豊富にあり、図表も簡潔に示されていて、生徒が具体的にイメージを膨らませながら学習できる内容になっている。</li> <li>日本の人口や農業、産業、工業について、地図とともにデータが示されており覚えやすい。</li> <li>とじ込み付録として47都道府県の基本データや日本全図があり、都道府県の特徴について発展的に学習ができるようになっている。「都道府県かるた」は、授業の導入や復習に活用できる。</li> </ul>								
評	<p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>活字は小さめであるが適度に行間がとられており見やすい。漢字にはルビが振られていて読みやすい。</li> <li>多くの写真やグラフが掲載されており、見やすく配置されている。</li> </ul>								
	<p>(総評)</p> <p>日本の自然や産業などについてテーマに沿ってまとめられていて、生徒の多様な興味・関心に応じて学習を進めることができる。</p>				<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>		A	B	○
A	B								
○									

種目	社会/	書名	No.11 小学生からの都道府県おでかけ図鑑親子で「学び」と「遊び」の旅に出よう! (2023)	発行者名	振興出版社				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>47都道府県の地理や歴史、文化などについて学ぶことができる内容となっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1つの都道府県ごとに見開き2ページで紹介されている。豊富な写真やイラストを用いて、それぞれの都道府県の地理や歴史、食文化などについて興味・関心を持てるよう工夫されている。</li> <li>地方ごとの中表紙に、「都道府県なんでも日本一」が掲載されており、それぞれの都道府県が日本一の事象を理解することができる。</li> <li>五十音での索引と都道府県別の索引があり、用語の検索がしやすくなっている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>城下町や宿場町、ベッドタウンなど様々な「まち」の特徴や成り立ちについて学ぶことができる。</li> <li>各都道府県の紹介の中で、市町村を1つ採り上げ「まち」の視点からも紹介している。</li> <li>付属のポスターを使ってオリジナルの日本地図を作ることで、主体的・対話的で深い学びを実践することができる。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>都道府県ごとに二次元コードが掲載されており、動画で知識を深められるよう工夫されている。</li> <li>漢字にルビが振ってあり、漢字が不得意な生徒への配慮がなされている。</li> <li>風景や観光地、特産物などの写真が多く掲載されており、楽しみながら学習できる。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>都道府県について、歴史や文化、観光地、地理的データなどについて楽しく学ぶことができる図鑑である。</p>								
					<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> </table>	A	B	◎	○
A	B								
◎	○								
種目	社会	書名	No.12 ひとりだちするためのトラブル対策 改訂版 (2016)	発行者名	日本教育研究出版				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>トラブルの実例が豊富に掲載されており、生徒が興味・関心を持って学習できる内容となっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対人関係、健康、金銭管理、スマホの使用など実際の生活場面でのトラブル事例が数多く掲載されている。また、対処法や予防策も紹介されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>トラブルの事例に関して、自分や友達の考えを書き込み、生徒同士で話し合うことで、より身近な問題としてトラブル対策について考えることができる内容となっている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イラストが多く掲載されており、文字を読むことが苦手な児童生徒でも興味を持って学習に取り組めるよう配慮されている。</li> <li>文字の色や大きさ、太さを変えることで重要な内容や言葉を強調し、生徒が学びやすいように配慮されている</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>学校生活や社会生活で起こり得る様々なトラブル事例について、自分で考えたり、友達と話し合ったりすることで、トラブルへの対策を身に付けることができる内容である。</p>								
					<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> </table>	A	B	◎	○
A	B								
◎	○								

種目	社会 職業・家庭	書名	No.13 大人になってこまらないマンガで身につくネットのルールとマナー (2018)	発行者名	金の星社				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報機器の操作や扱いのみならず情報セキュリティや情報モラルまで扱われており、生涯を通して必要な情報活用能力の育成が図られる内容である。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基礎的な知識や用語の知識から始まっており、インターネットの活用の経験が乏しい生徒にも分かりやすい配列となっている。</li> <li>ストーリーの中に情報を分かりやすくまとめたページが挟まれており、インターネットの用語や問題点などを体系的に理解しやすく作られている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ルールやマナー、トラブルの例を通して主人公たちが学んでいくストーリーとなっており、主体的な情報活用能力の伸長が図られている。</li> <li>親しみやすいキャラクターが登場しており、読みやすく作られている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>カラフルだが全体的に淡い色で彩色されており、見やすく作られている。</li> <li>全ての漢字にルビが振られており、生徒の発達段階に配慮がされている。</li> <li>章ごとにページの色が変えられており、章だてを分けて理解しやすい。</li> </ul> <p>(総評)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>親しみやすいキャラクターが登場するマンガを通してインターネットの利便性や問題点、トラブルを避ける方法などが分かりやすく採り上げられている。</li> </ul>								
価	<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>					A	B	○	
A	B								
○									
種目	社会 職業・家庭	書名	No.14 ひとりだちするための進路学習 あしたへのステップ (2017)	発行者名	日本教育研究出版				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>職業生活に必要な思考力、判断力、表現力について適切に学修指導要領に示された内容が分かりやすく示されている。</li> <li>進路選択において重要な自己理解の促す内容が含まれている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>章の構成が系統的に配置されている。</li> <li>日常生活に即した基礎的内容に始まり、段階的に将来に向けて考えを深めていけるよう構成されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の気持ちや考えを書き込みながら学習を進めることで、学習の蓄積ができるようになっている。</li> <li>生徒自身が考えを深めたり調べたりすることができるようになっており主体的な学習につなげることができる。</li> <li>巻末に特徴と使い方がまとめられており、各教科や作業学習との関連付けもしやすくなっている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全ての漢字にルビが振られており、読みやすいフォントで書かれている。</li> <li>絵柄や色合いも見やすく、書き込みの欄の大きさも適切で書きやすい。</li> <li>章ごとに色分けされていて構成が分かりやすい。</li> </ul> <p>(総評)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>将来に向けて身に付けたい内容が分かり易く系統的に学べるようになっている。</li> </ul>								
価	<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>					A	B	○	
A	B								
○									

種目	数学	書名	No.15 さわって学べる算数図鑑 (2015)	発行者名	学研						
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 具体的に操作をしながら、図形の形や立体の形を触ったり組み立てたりして感覚的に理解しやすい内容になっている。</li> <li>・ どのページにもしかけがあり、手を使い視覚的にも楽しみながら図形や計算について理解できる工夫がされている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「たし算とひき算」「かけ算、わり算」「分数」「図形」などの項目ごとに2ページの見開きになっている。しかけをめくってクイズ形式で計算を解いたり、図形の名前や意味などを調べたり、楽しみながら学ぶことができる。</li> <li>・ 読者に語りかけるような文章で日常生活にある図形の例などを提示し、生活の中で図形に興味を持たせる工夫をしている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実際に触って正解を見たり、立体図形を組み立てるなど生徒の興味・関心を惹く工夫がなされている。</li> <li>・ 計算が複雑になりがちな分数の計算などを、生徒自身の操作によって視覚的に学習できる。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 丈夫な厚紙で作られており、複数回の操作にも耐えられる。また、指先が不器用な生徒でもしかけをめくることが容易である。</li> <li>・ 漢字には全てルビが振られており、読みやすいフォントで書かれている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>図形や立方体、数を足す、引く、かける、分けること等について本の中のしかけを動かしたり、図形を組み立てたりすることで楽しみながら学習できる内容となっている。</p>										
価	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="width: 25%; text-align: center;">A</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">B</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">◎</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>						A	B		◎	○
	A	B									
	◎	○									
種目	数学	書名	No.16 ひとりだちするための算数・数学 (2012/2021)	発行者名	日本教育研究出版						
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常生活に必要な内容を数多く採り上げており、学習した事項が日常生活や家庭生活の場で活かせる内容になっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「基礎を学ぼう」「生活シーンで学ぼう」という2部構成で、それぞれの部でテーマごとに配列され、系統立てて学習しやすくなっている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基礎的な例題や挿絵、書き込み式の問題、囲み記事による補足説明などで理解しやすくなっている。</li> <li>・ 「時間」「お金」など実生活に結び付いた内容を採り上げているため、算数・数学だけでなく、生活単元学習や作業学習での活用が期待できる。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 字の大きさや行間など見やすい工夫がされている。また、書き込み欄が大きい。</li> <li>・ モノクロ印刷を主としながら、見出しや重要部分を赤色で彩色することで、見やすい配色になっている。</li> <li>・ すべての漢字にルビが振られており、理解を助けている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>すぐに使える身近な学習内容から、高等部卒業後の自立生活まで使える算数・数学の知識が、必要な項目に絞って構成されており、現場で活用しやすい内容である。</p>										
価	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="width: 25%; text-align: center;">A</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">B</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">◎</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>						A	B		◎	○
	A	B									
	◎	○									



種目	理科	書名	No.17 絵本図鑑シリーズ12 一のはらのずかん 野の花と虫たち (1992)	発行者名	岩崎書店		
評  価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身近なところで目にすることができる植物や生物が、季節や場所ごとに紹介されており、植物や虫等の名称や生息する環境とそのつながりについて学ぶことができる。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>四季の移り変わりに合わせてまとめられており、理解しやすい配列になっている。</li> <li>季節や場所ごとに植物や昆虫等の様子が見開き2ページでまとめられていて分量も適切である。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な植物や昆虫が、色彩豊かで緻密な挿絵で示されており、生徒の興味・関心を引く工夫がなされている。</li> <li>四季ごとにまとめられているので、一年を通して活用でき、観察にも使用できる。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>活字は少し小さいが、植物や昆虫の挿絵が美しく色彩も鮮明であり、絵のすぐ近くに名称が表記されていて分かりやすい。また、漢字にはルビが振ってあり装丁もしっかりしている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>身近な自然を採り上げ、挿絵も色彩豊かで緻密に描かれており、親しみやすい内容である。生徒の興味・関心に応じて身近にある自然について学習することができる。</p>					A	B
	◎	○					
種目	理科	書名	No.18 21世紀幼稚園百科11 からだのふしぎ (1994)	発行者名	小学館		
評  価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身体各部位や内部の器官の構造と働きが、分かりやすく説明されている。</li> <li>病気やけがの症状と処置や、食品と栄養の関係についても扱われており、実生活に生かすことができる内容になっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>耳や目など、外から見てわかる部位から心臓や腸といった身体内部の器官まで幅広く扱い、テーマごとに配列されている。</li> <li>それぞれのテーマが見開きで簡潔にまとめられている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>体のメカニズムや動き、健康面に関する内容も含まれており、保健体育科との関連が考慮されている。</li> <li>保護者向けの説明や補足があり、家庭生活と結びつけた発展的な学習にも役立てることができる。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>厚手の紙を使用しており、手先が器用でない生徒にとっても扱いやすい。</li> <li>活字やルビに平仮名を使用し、見出しを大きな文字にしたり、絵や写真を多く採り入れたりすることで、見やすく工夫されている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>身体部位や内部器官の構造の働きなど、人体の基本的な仕組みについて学習できる内容となっている。</p>					A	B
	◎	○					

種目	理科	書名	No.19 ドラえもんの理科おもしろ攻略 力と電気、音、光がわかる (1997)	発行者名	小学館
評					
価					
種目	理科	書名	No.20 ドラえもんの理科おもしろ攻略 生物(植物・昆虫・動物)がよくわかる (1994)	発行者名	小学館
評					
価					

- (1)
- ・ 日頃何気なく使っている物や何気なく見たり聞いたりしていることの中の不思議について、人気アニメのドラえもんの登場人物たちと一緒に考える内容となっている。
  - ・ 物理分野で重要な「きまり」や「原則」が分かりやすく説明されている。
- (2)
- ・ 「力がわかる」、「電気がわかる」、「音と光がわかる」と大きく3つのテーマに分けており、テーマごとに複数の単元が配置されている。
- (3)
- ・ 身近な物や事象の不思議を採り上げ、登場キャラクターがその不思議を解明していくストーリーがマンガで表現されており、興味・関心を喚起する工夫がなされている。
  - ・ 各単元の終わりに「練習しよう」があり、学習したことを振り返ることができるようになっている。
- (4)
- ・ 二色刷りの漫画で説明されており親しみやすく、見やすい。
  - ・ コミック本サイズで手に取りやすい。
  - ・ 漢字にすべてルビが振られている。

(総評)

子どもたちに人気のあるドラえもんの登場人物たちが、物理法則を説明する作りとなっており、興味・関心を喚起するものである。内容が難しい部分が多いので、比較的理解が早く、理科や実験等が好きな生徒の使用が適当である。

A	B
○	

- (1)
- ・ 人気キャラクターのドラえもんの登場人物たちが植物や動物のつくりや分類、生態などについて分かりやすく説明する内容となっている。
- (2)
- ・ 「植物の世界」、「動物の世界①(昆虫)」、「動物の世界②(セキツイ動物とプランクトン他)」の3つのテーマに分かれている。
  - ・ 植物の世界は、種子→呼吸→葉→花と成長過程にそって単元が配列されている。
  - ・ 動物の世界は、体のつくり→分類→生態の順に単元が配列されている。
- (3)
- ・ 興味を持たせられるよう登場キャラクターが分かりやすく内容を説明している。
  - ・ 各単元のおわりに「練習しよう」があり、学習したことを振り返ることができるようになっている。
- (4)
- ・ 二色刷りの漫画で説明されており親しみやすく、読みやすい。
  - ・ コミック本サイズで手に取りやすい。
  - ・ 漢字にすべてルビが振られている。
  - ・ 図や表をふんだんに使って、目で見て理解できるよう工夫されている。

(総評)

子どもたちに人気のあるドラえもんの登場人物が、分かりやすく内容を説明する作りとなっており興味・関心を喚起するものである。  
内容が難しい部分が多いので比較的理解が早い生徒の使用が適当である。

A	B
○	

種目	理科	書名	No.21 まんがと写真でわかる家庭菜園 春夏秋冬 (改訂版) (2023)	発行者名	ブティック社
評					
価					
種目	理科	書名	No.22 所さんの目がテン! かがくの里×学研の 図鑑 LIVE 里山の生き物図鑑 (2022)	発行者名	学研
評					
価					

- (1)  
・ 野菜の育て方だけでなく道具の準備から苗の選び方、堆肥の準備、害虫や植物の病気などの対策に関しても写真や漫画でわかりやすく解説している。
- (2)  
・ 野菜を育てる時期に合わせた春夏秋冬の構成になっており、野菜の育成時期や季節に合わせての管理などが、わかりやすい配列となっている。
- (3)  
・ 生徒にはわかりづらい専門用語などがあるが、挿絵や写真を多用し、野菜の成長について苗の段階から成長するまでの様子が目で見てわかる内容になっている。  
・ 統一した表記で植物の特性や種まきの時期や収穫期などが書かれているため、比較しながら学習することができる内容となっている。
- (4)  
・ 特別な用語以外は漢字にルビを振っていないが、ほとんどのページがカラーであり漫画や写真で内容を理解しやすくなっている。

(総 評)

写真とイラストが多いのでイメージを持ちやすく親しみやすい内容となっている。

野菜を作るために必要な土づくりや道具についても詳しく掲載されており、興味のある生徒にとっては深く学べ、初めての生徒には興味・関心を持ちやすい内容となっている。

A	B
○	

- (1)  
・ たくさんの作物が収穫され、様々な生き物が暮らしている里山の成り立ちから生き物の生態について知識を深めたり人間が自然と共存する生活について理解したりできる内容となっている。
- (2)  
・ 田んぼや畑、雑木林など里山の様々な場所ごとに配列されている。  
・ 様々な場所のおおまかな特徴の説明のあと、そこに住む生き物たちが紹介される配列になっている。
- (3)  
・ 色鮮やかな写真と端的な説明がある。また二次元コードが多く設置され動画をみることもでき、理解しやすい。  
・ 生き物ごとに出現するレア度が星印で表示されており、生徒の興味・関心を引き出す工夫がされている。

(4)

- ・ 紙質がよく装丁もしっかりしている。
- ・ 鮮明な図や写真が多く使われており理解しやすい。

(総 評)

テレビ番組で紹介された里山の生き物の姿や様子が写真や二次元コードを通した動画等で紹介されており、興味・関心を高める内容となっている。

A	B
◎	

種目	理科	書名	No.23 動く図鑑 MOVE 地球のふしぎ (2020)	発行者名	講談社					
評価			<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地球の成り立ちや変化について、写真やイラスト、付属のDVDによる映像も使って分かりやすく解説する内容となっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「地球と宇宙」、「地球のすがた」、「地球の海と空」、「地球の未来」の4つの章で構成されている。</li> <li>テーマごとに見開きでまとめられており、興味・関心に応じて学習が進められるようになっている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>写真や図表が豊富であり、生徒が具体的にイメージを膨らませることができる。</li> <li>それぞれのテーマごとに詳しい解説があり理解を深めることができる。</li> <li>付属のDVDにはふだんは見ることができない地球の内部や、地形のふしぎ、神秘的な自然現象などダイナミックな映像が収録されており生徒の興味・関心を引き出す内容である。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>紙質がよく装丁もしっかりしている。</li> <li>鮮明な図や写真が多く使われており理解しやすい。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>オールカラーで迫力のある図と詳しい解説もあり地球の成り立ちや変化について直感的に学習することができる。興味・関心に応じては発展的な学習にもつなげることができる。</p>			<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>	A	B	○	
A	B									
○										
種目	理科	書名	No.24 小学館の図鑑 NEO [新版] 科学の実験 DVD付 (2009/2020)	発行者名	小学館					
評価			<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワクワクするような面白い実験が約200種類紹介されている。</li> <li>付属のDVDで実験の方法を動画で確認できるようになっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実験は光や音、温度と熱など12のテーマに分類されている。</li> <li>実験は3段階にレベル分けされており生徒の興味・関心に応じて選択ができるよう組織されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>色鮮やかな写真とイラストを豊富に使い、実験の方法が一目で分かるようになっている。</li> <li>理科の知識や用語をつかった詳しい説明が豊富にあり、発展的な学習につなげることができる。</li> <li>DVDには人気キャラクターが登場し、生徒の興味・関心を引くよう工夫されている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>紙質がよく装丁もしっかりしている。</li> <li>見開きでひとつの項目が示されており見やすい。</li> <li>写真がカラーで紹介され印刷も鮮明で見やすい。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>ワクワクするような楽しい実験や、工作、手品、料理なども紹介され生徒の好奇心をくすぐる内容となっている。実験を通して基礎的な内容から発展的なものまで幅広く学習できる。</p>			<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>	A	B	○	
A	B									
○										

種目	美術	書名	No.25 ペーパーランド8 おりがみえあそび	(1986)	発行者名	ポプラ社				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>折る、合わせるなどの基礎的な技能を身に付けることができる。</li> <li>手順通りに作るだけでなく、絵を描き加えたり背景と合わせたりすることによって、造形活動の幅を広げられる内容になっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>比較的簡単なものから、徐々に難易度が上がるように段階的に配列されている。</li> <li>生徒が、興味・関心に合わせて折りたいものを選択することができる適切な分量である。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>折り方だけでなく、背景に合わせた作品も掲載されているため、作品から物語を作るなど、発展的な学習に利用することができる。</li> <li>折り方は、平仮名による説明とカラーの図で分かりやすく示されている。比較的理解の早い生徒は、自分で手順を見て主体的に取り組むことができる。</li> <li>基礎的な折り方を繰り返し活用し身に付けられるよう、内容が工夫されている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>折り方には番号が振られ、説明文と図がバランスよく配置されていて見やすい。</li> <li>装丁がしっかりしている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>視覚的に理解しやすい構成で、比較的理解の早い生徒の使用に適している。比較的理解に時間がかかる生徒でも、教師と一緒に作品を作ったり、鑑賞したりすることで、十分に活用できる。</p>									
価					<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> </table>		A	B	◎	○
A	B									
◎	○									
種目	美術	書名	No.26 国土社の図工えほん8	紙そめ	発行者名	国土社				
	(1980)									
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>伝統的な紙染めの技法について簡潔に紹介されている。また、紙の折り方や配色を工夫することによって、様々に変化する染め物も掲載されている。生徒が楽しみながら造形的な活動ができる内容である。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な道具や材料、手法の紹介から、様々な工夫を施した発展的なものへと段階的に配列されている。</li> <li>裏表紙には箱に貼り付けた例が写真で掲載されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>紙を折る、染料に浸すという基礎的な技能を繰り返し活用し、身に付けられるようになっている。比較的理解の早い生徒には、染料の薄め方や配色の工夫など、より発展的な内容を学習できるようになっている。</li> <li>完成した作品で日常的に使用する作品の制作等に生かすことができ、他の学習活動への発展が期待できる内容になっている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>色鮮やかな完成作品が、分かりやすく簡潔な表現の説明文とともに示されている。文字にはルビが振ってあり読みやすい。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>紙染めの技法が分かりやすく示されていて、生徒の造形活動への意欲が喚起できる内容になっている。</p>									
価					<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> </table>		A	B	◎	○
A	B									
◎	○									

種目	美術	書名	No.27 うつくしい絵 (1974/1991)	発行者名	借成社				
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国内外の著名な画家の作品を採り上げ、絵画鑑賞の基本を親しみやすく学ぶことができる内容になっている。</li> <li>作者の思いや時代背景を紹介することで、「うつくしい作品」は「うつくしい心」から生まれるという、感受性を刺激する内容になっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5人の画家ごとに代表作品と作品の完成に至る経緯などがまとめられている。掲載作品の内容は分量・区分ともに適切である。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>絵画鑑賞の視点や作者の表現意図が分かりやすい文章で解説されている。鑑賞する際にポイントとなる絵の一部分を拡大して示すなど、理解しやすいよう配慮されている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>画像が大きく鮮明で、細部まで鑑賞できる。活字も大きく、漢字にはルビが振ってあり読みやすい。作者名をゴシック体で表示したり、読み進め方を矢印で表示したりするなどの配慮がある。</li> <li>横長の装丁で、大きな作品も全体を示すことができ、見やすく工夫されている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>世界的に著名な作家とその作品を採り上げて、分かりやすい言葉で説明を加えることで理解を容易にしている。芸術作品の初歩的な鑑賞に適している。</p> <table border="1" data-bbox="1082 904 1449 1021"> <tr> <td data-bbox="1082 904 1264 954">A</td> <td data-bbox="1264 904 1449 954">B</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1082 954 1264 1021">○</td> <td data-bbox="1264 954 1449 1021"></td> </tr> </table>					A	B	○	
A	B								
○									
種目	美術	書名	No.28 はじめての絵手紙教室 (1998)	発行者名	マール社				
評価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>絵手紙独特の技法により、楽しんで表現活動に取り組むことができる。</li> <li>絵手紙の基本を学び、絵手紙を通してコミュニケーションを広げることに役立つ内容である。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>必要な用具やその使い方、手法、作品のレイアウトなどが系統的に配置され、生徒の制作意欲を喚起しやすい。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>筆の持ち方や動かし方などが写真付きで説明されている。実物大の作品例が多く、実態に合わせてトレースしたり、部分的に参考にして表現したりしやすい。</li> <li>他の人と絵手紙を通じて感じたことを伝え合うコミュニケーションの手段として、発展的な学習が可能である。</li> <li>季節感のある作品例が多数掲載されていて、日常生活と関わらせた学習が可能である。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>制作の手順がカラー写真と説明文でバランスよく掲載されている。</li> <li>平易な言葉が多いが、難しい用語が含まれていることもある。全編を通してルビが振られていないため、説明文の理解は支援が必要と思われる。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>作品例が多く、活動がイメージしやすいため、生徒の意欲を喚起しやすい。説明文はやや難解なので、教師が説明し、写真で理解させるのがよい。</p> <table border="1" data-bbox="1072 1796 1439 1912"> <tr> <td data-bbox="1072 1796 1254 1845">A</td> <td data-bbox="1254 1796 1439 1845">B</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1072 1845 1254 1912">○</td> <td data-bbox="1254 1845 1439 1912"></td> </tr> </table>					A	B	○	
A	B								
○									

種目	美術	書名	No.29 ハートアートシリーズ 色のえほん (2001)	発行者名	視覚デザイン研究所				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>色の三原色、三属性、混色など、色彩に関わる基本的な事項が平易な言葉と実際の色の見本により、視覚的に理解できる内容である。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ストーリーを楽しみながら、色彩の基礎を感覚的に理解できるよう配列されている。</li> <li>要素別に7話で構成されていて、前話と関連付けながら発展的にストーリーが展開されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各話の内容は色の見本と平易な言葉で描かれ、各話の終わりに専門的な用語を用いた説明で内容を補完している。比較的理解の早い生徒は、表現活動に生かすなど、発展的な学習に活用することができる。</li> <li>カラフルな色彩が随所に散りばめられ、内容が理解できなくても見ていたくなるような、生徒の興味・関心を引き付ける構成になっている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文字を読まなくても、視覚的に捉えられるよう配慮されている。</li> <li>ルビは振られていないが、平易な言葉遣いで説明されているため読みやすい。</li> <li>上質な紙で装丁もしっかりしている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>色に関する知識を楽しみながら学ぶことができる。色が似ている、似ていないという感覚的な理解から、専門的な用語による系統立てた学習にまで幅広く対応している。</p>								
価					<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> </table>	A	B	◎	○
A	B								
◎	○								
種目	保健体育	書名	No.30 子どもの生活6 じょうぶなからだになれるよ！ (1990)	発行者名	偕成社				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康な生活を送るために必要な事柄を採り上げ、日々の生活で気を付けていくことで自分の体に興味を持ち、健康への意識を高められる内容になっている。</li> <li>日常生活での場面を多く扱っていて、生徒が関心を持ちやすい内容になっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>テーマごとに、見開き2ページで構成されていて、適切な分量になっている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>親しみやすいイラストで生徒の興味・関心を引き付け、平易な言葉で説明が加えられていて理解しやすい。</li> <li>読み手に語りかける解説やアドバイス、イラストや保護者への補足説明などがバランスよく配置され、生徒と保護者(教員)と一緒に読み進めることができる工夫がされている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>上質な紙で装丁もしっかりしている。</li> <li>柔らかな色使いで見やすい。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>身近な題材と親しみやすいイラスト、分かりやすい説明があり、生徒が学習に意欲的に取り組むことができる内容である。</p>								
価					<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> </table>	A	B	◎	○
A	B								
◎	○								

種目	保健体育	書名	No.31 こどもからだのしくみ 絵じてん (2016)	発行者名	三省堂				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人の体のつくりやしぐみについて、わかりやすく解説されていて、生徒が自分の体や健康に興味を持てる内容となっている。</li> <li>豊富な情報が取り上げられていて、生徒の様々な疑問を自ら解決できる内容になっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「骨格」「消化器」「循環器」「感覚器」「脳・神経」「病気・けが」の6つの章に分けて構成され、さらに一つ一つのテーマについて見開きで解説してあるので、目次や巻末の索引を利用し、必要な情報を一目で得ることができる。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大きく分かりやすいイラストで、楽しみながら内容を理解できるように工夫されている。</li> <li>生徒の興味を広げるコラムや大人に向けたより詳しい説明があり、発展的な学習にも適している。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>簡単な漢字を用い、すべての漢字にルビが振られており、読みやすく工夫されている。</li> <li>厚手の表紙で装丁されていて、繰り返しの学習に耐えられるようになっている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>人の体のつくりや働き、病気について関心を持ち、健康的な生活習慣を身に付けるのに役立つ内容となっている。大きくて分かりやすい絵や図が豊富に入っているので、理解に時間がかかる生徒にとっても教師の説明を聞きながら楽しんで学習ができる。</p>								
価					<table border="1"> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	◎	○
A	B								
◎	○								
種目	保健体育	書名	No.32 改訂新版体験を広げることものずかん9 からだとけんこう (1997)	発行者名	ひかりのくに				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人間の体について、部位ごとの構造や働きをバランスよく解説していて、自分の体についての興味・関心を高めることができる内容になっている。</li> <li>項目ごとに詳細に解説されていて、生徒の学習意欲を喚起する内容になっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>項目ごとに1～4ページにまとめられている。また、大きなテーマごとに関連する内容がまとめられており、系統的に学習を進められるよう配慮されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>解説量が豊富であるため、内容を取捨選択して使用することで、基本的な学習から発展的な学習まで、幅広く使用できる内容になっている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>写真や親しみやすいイラストが豊富に使われており、豊富な内容をバランスよく配置している。</li> <li>見開きで構成されているので、見やすい仕上がりになっている。</li> <li>解説文の文字サイズはやや小さめだが、平易な言葉で書かれており、ルビが振られているため、学習しやすくなっている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>人体の各器官について詳しく紹介されていて、生徒の理解の早さや発達段階に応じて、学習内容を調整しながら取り扱うことができる。</p>								
価					<table border="1"> <tbody> <tr> <td>・ A</td> <td>・ B</td> </tr> <tr> <td>・ ◎</td> <td>・ ○</td> </tr> </tbody> </table>	・ A	・ B	・ ◎	・ ○
・ A	・ B								
・ ◎	・ ○								



種目	保健体育	書名	No.33 イラスト版からだのしくみとケア 子どもとマスターする58のからだの知識 (1998)	発行者名	合同出版				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人体の仕組みについて、細かな項目ごとに詳しく解説されている。</li> <li>・ 生徒が自分の体に興味を持ち、疑問に思ったことが解決できるよう詳細に解説した内容である。</li> <li>・ 仕組みだけでなく、簡単にできる手入れの仕方も解説されており、日常生活の指導にも結びつけられる内容になっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 項目ごとに1～4ページでまとめられていて、関連する内容と前後して掲載されているため、系統的に学習を進めることができる。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ イラストと解説文で項目ごとに豊富な情報量になっているため、生徒の発達段階や理解の早さに応じて、内容を取捨選択することで、基礎的な学習にも発展的な学習にも活用することができる。</li> </ul>								
価	<p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分かりやすいイラストが多く用いられており、内容を理解しやすい。</li> <li>・ 全編モノクロ印刷であり、文字は小さめのものが多く、ルビが振られていないが、理解に時間がかかる生徒にはやや難しい。教師側が分かりやすい表現にして補い指導していくことで、理解させることができると思われる。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>項目ごとに詳しく解説されているため、解説の文字の小ささとルビのない点を補うことで、基本的な学習から発展的な学習まで幅広く活用できる可能性がある。</p> <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>					A	B	○	
A	B								
○									
種目	職業・家庭	書名	No.34 お料理大好き！ 新・こどもクッキング (1998)	発行者名	女子栄養大学出版部				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 簡単な作り方で調理できるものを中心に掲載されていて、調理の基本的な技術を身に付けるのに適した内容となっている。</li> <li>・ 生徒が取り組みやすいメニューを数多く掲載し、意欲を喚起できるよう配慮されている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々な料理が食材別・ジャンルごとに分けられ、また、ごく簡単なメニューから複数のメニューを組み合わせたコース料理まであり、調理の基礎から発展的な調理法まで指導ができるよう配慮されている。</li> <li>・ 季節ごとの行事等との関連を考慮した献立も掲載されている。</li> </ul>								
価	<p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身支度や器具、用語などの説明に加え、初歩的なものから難易度が上がった内容のメニューまで幅広く掲載されているため、生徒の興味・関心や実態に合わせて学習できるよう配慮されている。</li> <li>・ イラストや写真が適切に使用され、理解しやすい内容になっている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 完成品の写真がカラーで大きく紹介され、印刷も鮮明で見やすい。紙質がよく装丁もしっかりしている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>調理方法を簡潔に示すことで、生徒の意欲を喚起できる内容になっている。また、分かりやすい内容・構成で、比較的理解の早い生徒は主体的に調理を行うことができると思われる。</p> <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> </table>					A	B	◎	○
A	B								
◎	○								

種目	職業・家庭	書名	No.35 坂本廣子のひとりでクッキング(7) おべんとうつくろう! (1993)	発行者名	偕成社				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調理の際の約束事やお弁当を作る時の注意点を分かりやすく具体的に示している。</li> <li>調理の流れが一目で分かる内容になっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>メニューごとに1ページまたは、見開きの中に、道具、材料、手順が分かりやすく示されていて、学習しやすい構成になっている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>簡単な調理方法や、手順の少ないメニューが提示されており、生徒が取り組みやすいよう工夫されている。</li> <li>分かりやすいイラストと完成時の写真が掲載されていて、生徒が見通しをもって調理に取り組みやすい。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>手順や道具等が分かりやすく簡潔な表現で示されている。</li> <li>堅ろうな表紙と厚手の紙で製本されていて、調理の際に繰り返し使用できるように作られている。</li> </ul>								
価	<p>(総評)</p> <p>分かりやすい説明と親しみやすいイラストで、お弁当向けのおかずの調理方法が解説されている。生徒の意欲を喚起する内容になっており、比較的理解の早い生徒は、自分で調理に取り組む活用方法も考えられる。</p> <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> </table>					A	B	◎	○
A	B								
◎	○								
種目	職業・家庭	書名	No.36 つくってあそぼう リサイクル工作ずかん (1993)	発行者名	小峰書店				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>牛乳パックや空き缶、紙コップなど、身近にあるリサイクル品を利用したおもちゃの作り方や遊び方が示されている。簡単に作ることができるものから大人の手助けが必要なものまでバリエーションに富み、生徒の製作意欲をかきたてるものである。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>材料ごとに作品がまとめられており、多数ある作品の中から、制作する物を選べるよう工夫されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一つの材料から様々な作品へと製作する例が数多く示されており、生徒の自発的・発展的学習が期待できる。</li> <li>はさみやテープ、カッターなど、様々な道具を用いて製作を行うことで、道具の扱いに慣れ、手指の巧緻性を高めることが可能だと考えられる。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作品ごとに大きなイラストと簡潔な説明でまとめられており、読みやすく作られている。</li> <li>丈夫な厚紙で、開きやすい装丁である。</li> </ul>								
価	<p>(総評)</p> <p>全体的に大きな字や図を使った簡潔な説明で、分かりやすい。また、身の回りの材料で簡単に作れるものを掲載しているため取り組みやすく、楽しみながら製作することができる。</p> <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> </table>					A	B	◎	○
A	B								
◎	○								

種目	職業・家庭	書名	No.37 しごとば (2009)	発行者名	プロンズ新社				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ すし職人・歯医者、美容師など生徒にとって身近な職業について、細部まで掘り下げて採り上げている。将来、社会の中で働くことを生徒に意識させ、職業の多様性や専門性を分かりやすく示している。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ それぞれの職業について、職場の風景に始まり、使う道具や仕事の流れなど細部に渡って理解が深められるよう構成されている。</li> <li>・ 自分が興味のある職業から読むことができるので、生徒が繰り返し読むのに適している。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一つの職業について、様々な情報が盛り込まれているため、生徒の興味・関心によって、取捨選択しながら指導することができる。</li> <li>・ 写実的で細やかなイラストとともに説明があり、職場のイメージをつかんだり、職業について詳しく探求したりできる。</li> </ul>								
価	<p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一つ一つの絵に丁寧な説明が書かれてあり、分かりやすい。活字の大きさはやや小さいが、中学生にとっては問題ないと思われる。装丁がしっかりしていて扱いやすい。判の大きさも大きくて見やすくなるよう工夫されている。</li> </ul> <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> </table> <p>(総評)</p> <p>一つ一つの職場が詳細に再現されていて、特定の仕事に興味を持っている生徒にも、仕事に対して漠然としたイメージしか持っていない生徒のどちらに対しても、興味や憧れを喚起させる内容になっている。</p>					A	B	◎	○
A	B								
◎	○								
種目	職業・家庭	書名	No.38 こころのふしぎ なぜ? どうして? (2020)	発行者名	高橋書店				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活の営みに係る見方・考え方について、「〇〇のふしぎ」というテーマごとにまとめ、さらに小テーマごとに疑問を解決していく内容になっている。それにより、人間の心理や生命、人間関係や社会の規範などについて理解を深めていくことができる。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一つの設問に対し数ページのまとまりで構成されており、テーマごとに焦点を絞りながら読み進めることができる構成になっている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分かりやすい文章で表現することで、具体的な生活場面が想起しやすく、疑問や感情を生徒が理解しやすい。</li> <li>・ 生活の中で誰もが持ちうる疑問について簡潔に説明しており、生徒の実態や興味・関心に応じて学習することができる。自己理解を深めるための自立活動でも活用できる内容である。</li> </ul>								
価	<p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手に取りやすい大きさで、手になじむ紙質を使用しており、装丁がしっかりしている。</li> <li>・ 親しみやすいイラストで描かれており、生徒が読み進めやすい。</li> <li>・ 活字が大きく、文章にはルビが振られており、読みやすい。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>普段、何気なく思っていることへの興味・関心の広がり期待できる。また、設問ごとにまとめているので、興味のある部分のどのページからも読み進めることができる内容になっている。</p> <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>					A	B	○	
A	B								
○									

種 目	職業・家庭	書 名	No.39 「働く」の教科書 15人の先輩とやりたい仕事を見つけよう! (2013)	発行 者名	中央法規				
評          価	<p>(1) ・ 特別支援学校を卒業して実際に働いている方のインタビューや仕事の内容、一日の流れなどが扱われている。将来の職業生活や自分の進路について深く考えることができる内容となっている。</p> <p>(2) ・ 冒頭部分では、「働く」ということについて、意味やその形式を考えられるようになっており、その上でいくつかの業種別に先輩たちの働く様子が紹介され、様々な仕事について興味・関心が持てるように配列されている。</p> <p>(3) ・ 単に職業の紹介をするのではなく、「働く」ということ、働きかたについて考えたうえで、先輩たちの働く姿を知り、そこから自分に必要な職業スキルについて考えるなど、発展的に学習できるように配慮されている。</p> <p>(4) ・ 柔らかく丈夫な紙質で扱いやすい。活字はやや小さいが、漢字にはすべてルビが振られているので、読みやすい。</p> <p>(総 評) 進路指導にあたり、職業観や勤労観の形成につながる内容である。実際に社会に出て働いている先輩の生の声などが採り上げられていて、生徒の励みにもなる。働く際に必要な職業スキルについても学ぶことができる内容となっている。</p> <table border="1" data-bbox="1123 882 1449 999"> <tr> <td data-bbox="1123 882 1289 931">A</td> <td data-bbox="1289 882 1449 931">B</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1123 931 1289 999">○</td> <td data-bbox="1289 931 1449 999"></td> </tr> </table>					A	B	○	
A	B								
○									
種 目	職業・家庭	書 名	No.40 子どもとマスターする54の生活技術 イラスト版修理のこつ (1997)	発行 者名	合同出版				
評          価	<p>(1) ・ 物の手入れや修理などに関する体験的な学習内容を採り上げており、住まいや暮らし方に関する知識・技能を身に付けることができる内容である。</p> <p>(2) ・ 「保守・保全」「補修・修理」「洗う」など54の作業を9つのカテゴリーに分類している。必要な作業内容を分類から見付けやすい配列になっている。</p> <p>(3) ・ 作業学習だけでなく、日常生活の指導や自立活動の時間にも利用できる内容が多く含まれている。トイレ掃除の仕方などすぐに生かせる内容があり、生徒が学習したことを実践し、その成果を感じさせることができる。</p> <p>(4) ・ 装丁は丈夫であり、扱いやすい。改行・活字が小さくルビが振られていなが、イラストが充実しているため、説明は時に教師が読んで聞かせるなど工夫することで理解につなげることができる。</p> <p>(総 評) 日常生活の中ですぐに役立つ高度な技術が多く採り上げられている。漢字にルビがなく文章が多いため比較的理解の早い生徒に適しているが、理解に時間がかかる生徒にも一部使用できる。</p> <table border="1" data-bbox="1118 1680 1444 1796"> <tr> <td data-bbox="1118 1680 1284 1729">A</td> <td data-bbox="1284 1680 1444 1729">B</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1118 1729 1284 1796">○</td> <td data-bbox="1284 1729 1444 1796"></td> </tr> </table>					A	B	○	
A	B								
○									

種目	職業・家庭	書名	No.41 イラスト版子どものお手伝い 子どもとマスターする49の生活技術 (2004)	発行者名	合同出版				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活の中に様々なお手伝いがあることを学習し、洗濯や掃除、調理など、日常生活の基本的知識と技能を習得できる内容になっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5つのカテゴリー、49の小項目に配列されており、生徒が必要な内容が探しやすく配列されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>仕事の内容や手順などが、説明文とシンプルな挿絵で示されていて、生徒が実際に行う際の手助けになる。</li> <li>保護者と一緒に読むことで、家族生活での役割の意識を高める発展的な学習ができるよう配慮されている。</li> <li>それぞれの生活技術について、内容が見開きで生徒が学習しやすく配置されている。</li> </ul>								
価	<p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>厚手の紙を使用し、装丁もしっかりしており、長期間の使用に耐えられるものとなっている。</li> <li>挿絵の大きさや配置が適切である。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>全体的に大きめな字や図を採り入れていて、生徒にとって分かりやすいものとなっている。自分の生活をより良くしていき、更には自立していけるように様々な日常の場を設定している。</p> <table border="1" data-bbox="1125 974 1444 1086"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>					A	B	○	
A	B								
○									
種目	外国語	書名	No.42 和英えほん (1983)	発行者名	戸田デザイン研究室				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活でよく見られるものや、生徒が親しみを感ぜられる動植物などを採り上げ、生活の中で英語を使ってみたいという意欲を喚起できる内容になっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が親しみやすい80語ほどを採り上げており、適切な分量である。</li> <li>日本語の五十音順に配列されており、確認したい単語が探しやすいよう配慮されている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>英単語の発音を片仮名で示しており、強く発音するところをゴシック体にしていて、分かりやすさと正しい発音に向けた配慮がされている。</li> <li>一つの語に対して、親しみやすい挿絵、平仮名、アルファベットで構成されており、理解を助けている。</li> <li>見開きで左右のページに5個ずつ絵が縦に並び、間の仕切りを操作することで、日本語の意味と英単語を比べて見ることができ、繰り返し学習できる。</li> </ul>								
価	<p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見開きのしっかりした装丁になっている。どのページも同じ大きさの単純化した挿絵があり、色使いも左右異なるなど、シンプルで分かりやすいレイアウトになっている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>英語の初期の学習として、身近な言葉が採り上げられ、発音もカタカナで書かれており理解しやすい内容となっている。興味をもって英単語を覚えるのに適した内容である。</p> <table border="1" data-bbox="1117 1870 1444 1982"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> </table>					A	B	◎	○
A	B								
◎	○								

種目	外国語	書名	No.43 五味太郎のことばとかずの絵本 絵本ABC (1983)	発行者名	岩崎書店			
評  価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常よく目にする略語（頭文字）や語句を、イラストと説明文で解説している。</li> <li>・ 生徒が街で見かけた英語の意味を調べることができ、様々な体験活動に活用することができる内容である。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 略語が場面ごとに配列されているので、関連する他の語も知ることができ、学習したことが身に付きやすい構成となっている。</li> <li>・ 略語から簡単な英単語へと配列されていて、見開きで数個の略語や単語が学習できるようになっている。分量・区分とも適切である。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アルファベットや英単語にカタカナの読み方をつけているので、生徒が発音してみようとする意欲を引き出す。実際に生徒が見たことがあるであろう場面も多く、興味・関心を喚起させることができる。</li> <li>・ 「LP」、「EE」など、現在では目にするのが少ない略語もあるので、指導の際には補助的な説明を取り入れながら指導するとより活用できる。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 厚手の紙を使用し、装丁もしっかりしている。</li> <li>・ はっきりした色使いで大きく分かりやすいイラストが描かれており、文字も大きく見やすく書かれている。</li> </ul> <p>(総 評)</p> <p>全体的に大きな文字・図を採り入れており、生徒にとって分かりやすいものとなっている。身の回りにあるものの略語から、英語表記に興味・関心を持って学習させるのに適した内容となっている。</p>							
					<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> </table>	A	B	◎
A	B							
◎	○							
種目	外国語	書名	No.44 あかね書房の学習えほん えいごえほん ぞうさんがっこうに行く (1994)	発行者名	あかね書房			
評  価	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校生活をテーマに、初歩的な語や会話を採り上げている。</li> <li>・ 時刻や文房具、食べものなど日常生活に身近な語が数多く採り上げられている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校の一日に沿って、描かれているため、生徒が場面を想起しやすくなっている。</li> <li>・ 見開きのページごとに場面が設定され、簡潔にまとめられており、適切な分量である。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 親しみやすいキャラクターが登場し、生徒の興味・関心を引く工夫がされている。</li> <li>・ カタカナで分かりやすく発音が表記され、生徒がコミュニケーションに使用する意欲を喚起する工夫がなされている。</li> <li>・ 平易な文章表記を用いており、生徒が自分で読み進められることができる内容になっている。理解に時間がかかる生徒には、教師が読んで聞かせるなどの工夫をすることで、一部使用できる。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 厚手の紙を利用し、装丁もしっかりしている。文字はやや小さいが、挿絵のバランスも良く、見やすく仕上げられている。</li> </ul> <p>(総 評)</p> <p>色彩豊かで、楽しいキャラクターが生徒の興味・関心を引く。また、身近なものや場面を基礎的な英語で表現してみようという、生徒の意欲を喚起する内容である。</p>							
					<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> </table>	A	B	◎
A	B							
◎	○							

種目	外国語	書名	No.45 親子でうたう 英語うたの絵じてん (2011)	発行者名	三省堂				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「メリーさんのひつじ」や「森のくまさん」などポピュラーな曲が扱われている歌の本である。付属のCDで歌を聴くこともでき、英語の歌に親しむきっかけとなる内容である。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>童謡、クリスマスソング、あそびうたなどのテーマに分かれていて、季節や行事と関連させて取り組むことができるようになっている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの曲の歌詞のそばに日本語の意味と、曲のイメージにつながる絵が添えられており、生徒が意欲的に学習できる工夫がされている。</li> <li>英語の発音は書かれていないが、付属のCDで曲を聴くことで正しい発音を学ぶことができる。</li> <li>大人向けに解説が書かれており、それを教師が読んで聞かせることでその背景にある文化について発展的に学ぶことができる。</li> </ul>								
価	<p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大きな見やすい絵から内容や場面を想起しやすく、学習に興味を持たせることができる。歌詞の量が多くなると文字がやや小さくなるが、曲の雰囲気に合わせて色彩のイラストが添えられており、生徒の理解を助けている。</li> <li>厚手の紙を使用し、装丁もしっかりしている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>全体的に大きな絵が描かれていて生徒にとって分かりやすいものとなっている。CDを活用し、何度も英語に触れていくことで、自然に英語の発音に慣れ、親しみ、興味・関心を高めることができるようになっている。</p> <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>					A	B	○	
A	B								
○									
種目	外国語	書名	No.46 新レインボー はじめて英語辞典 (2017)	発行者名	学研				
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>絵辞典、英和辞典、和英辞典から構成されており、ボリュームがあるが、内容を精選してあるため、外国語学習の最初に手に取る辞典として親しみやすい内容になっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>絵辞典はテーマごと、英和辞典はアルファベット順、和英辞典は50音順に配列されているため、基本的な辞典の活用方法を学ぶことにも寄与する。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ほぼすべての語に、発音記号、カタカナでの読み方、品詞名、例文が添えられており、生徒が親しみやすく学習に取り組みやすいようにまとめられている。</li> </ul>								
価	<p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見出しとなる語の下に、意味や品詞名、類義語、例文などが見やすくまとめられており、生徒の学習意欲や習熟度別学習にも取り入れやすくなっている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>色彩豊かで見やすい。身近な語を基本として数多くまとめられている。また、英和・和英ともに使えるため、生徒の実態に合わせて学習できる内容である。</p> <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> </table>					A	B	◎	○
A	B								
◎	○								

種目	英語	書名	No.47 ドラえもん はじめての英語図鑑 (2018)	発行者名	小学館
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な場面だけでなく、社会生活の様々な場面の英単語や英文を採り上げており、日常生活から学校卒業後の生活でも学習したことを活用できる内容になっている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>英単語や会話表現を12のカテゴリ、107の場面やテーマに分けて採り上げているため、場面を想起しやすく、学習しやすい構成になっている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身近なところから広い世界へと場面が広がっていく構成になっており、基礎的な学習から発展的な学習へと活用しやすくなっている。</li> <li>なじみ深いキャラクターを用い、生徒の興味・関心を喚起するよう配慮されている。</li> <li>すべての場面・テーマでイラストや写真を用いて紹介しており、理解しやすいよう工夫されている。</li> <li>英単語(英文)と日本語の意味、発音のカタカナ表記が併記されており、理解しやすいよう工夫されている。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>すべての場面・テーマで色彩豊かな写真やイラストが用いられている。</li> <li>製本は堅ろうで、丈夫な紙質のため、繰り返しの使用に耐えられるつくりである。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>様々なテーマを見やすく採り上げており、生徒の興味関心に応じた使用ができる内容になっている。内容量が膨大なため、理解が早い生徒には適しているが、理解に時間がかかる生徒には一部適している。</p>				
価				A	B
				○	
種目	道徳	書名	No.48 マンガでわかる よのなかのルール (2011)	発行者名	小学館
評	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭や学校、地域社会など、生徒の生活に密着した具体的な場面の世の中のルールが数多く採り上げられており、生徒が実際に実践しやすい内容が収録されている。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見開き2ページで一つのテーマを扱い、短く簡潔な解説と展開が異なる2本の4コママンガが配置されており、対比しながら生徒が理解しやすい分量である。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>解説が色違いで2種類書かれており、平易な文で基礎的な内容から、発展的な内容まで、一つのテーマで幅広く対応することができる。</li> </ul> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>親しみやすいイラストを用いたカラーの4コママンガがすべてのテーマで描かれており、より理解しやすいよう工夫されている。</li> <li>製本は堅ろうで、生徒が手に取りやすい大きさになっている。</li> </ul> <p>(総評)</p> <p>65項目のほとんどが道徳の内容「主として人との関わりに関する事」に関連しており、特別な教科道徳に使用できる。解説と4コママンガを用いて学習することで、実際の生活での困難を改善していくことができる内容であり、理解が早い生徒には適しているが、解説文を平易な方のみ限定するなどして、理解に時間がかかる生徒にも使用することができる。</p>				
価				A	B
				○	